

陸上貨物取扱業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	16～17	引越荷物搬入中、2階から3階に室外エアコン（10kg）を運んでいるとき、階段で足が滑り、右膝をぶつけて負傷した。	21	413	3	50～99
2017	1	11～12	配送先にて4t車のゲートのストッパーが外れたため、手で押さえて止めようとしたとき、パレットを動かしたときに指がストッパーに挟まった。	25	611	7	100～299
2017	1	8～9	構内において、被災者は、プレス機オイルタンク（0.6m×0.6m×1.0m、重量50kg）の移送作業を行っていた。同僚1名がハンドフォークを引き、被災者がオイルタンクを支えていたところ、傾斜に差し掛かりオイルタンクがバランスを崩して転倒し、右足にオイルタンクが落ちてしまい負傷した。	65	391	5	—
2017	1	11～12	4階作業場にてピッキング作業時、中軽量棚の下段の商品を取ろうとしゃがんだ際に、同時進行で補充作業をしていた補充担当者が、同じ中軽量棚の上部に仮置きしていた商品を誤って落下させ、被災者の頭に当たり負傷した。	42	611	4	100～299
2017	1	13～14	トラックの荷台で重さ20kg～25kgのダンボール箱を手積みした際に腰を負傷した。	50	611	19	10～29
2017	1	6～7	運送納品作業において、冷凍食品40ケースを4台に分け、カートにて店内に運ぶ際、最初の1台目を押し上げようとしたところ、肉離れを発症した。	48	611	19	50～99
			倉庫内にて発生、高さ3m、幅2m位の鉄パイプが積まれた上での作				10～

2017	1	8～9	業で、移動する際に一番上のバラ置きされた鉄パイプの上に左足を乗せたところ、左足が滑り製品の上に落ちてしまい負傷した。	51	521	1	29
2017	1	9～10	事業場倉庫において、資材等の整理作業中、重さ20kg程度の塗料缶を持ち上げ移動させる際に手を滑らせてバランスを崩し転倒、右手首・右ひじを強打し骨折した。	59	416	2	—
2017	1	11～12	引っ越しのお客様宅にて、洗濯機の梱包中に、排水ホースをテープで固定する為テープを引きながら一歩下がった時、床下収納の蓋が開いていた為右足から落ち、つま先を強打した。痛みがあったがそのまま作業を続けたところ、痛みが引かず、後日に右足第2趾脱臼骨折および左足関節捻挫と診断された。	51	418	1	30～49
2017	1	13～14	第一センター4階4Bピッキングエリアにてカートを使用し、ピッキング作業中前方にカートが停止していた為、後方を確認せずに後退したところ、後方から来たカートに追突された。	38	229	3	500～999
2017	1	2～3	路線出発後、降し場側ホームの掃除や跳ね上げローラーの片付けをしながらホームの端を歩いていた際、誤ってホームの下へ転落し、背中から肩付近を強打し、負傷した。	45	417	1	30～49
2017	1	3～4	弊社内でケース出荷作業を実施中に、てんかんの発作を起こし意識を失い、床に倒れ、右肩を強打した。	23	416	2	50～99
2017	1	14～15	作業場において、通常作業の一環の中で梱包廃材（木材）の片付けと整理を行っていた際、強風が吹き木片が飛来し、右目に当たった。	44	719	4	10～29
2017	1	9～10	荷役場にて積み込み終了後、ラッシングを行った際、トレーラー最後部の足場の狭い所にて作業を行ったため、足を踏み外し、コンクリートの床に右側面から落下して負傷した。	57	221	1	—
2017	1	20～21	会議後の懇親会に出席し帰宅する際に交通事故に遭い、尿管等の損傷が疑われる。	69	231	17	10～29
			被災者は、営業所内にて箱製品の仕分けをしていた。仕分け商品				

2017	1	20～ 21	左側に置いた空パレットに積もうと両手で商品を持ち、足を掛けたところプラスチックパレットが割れバランスを崩し右肘から転倒し、強打し負傷した。	65	379	2	50～ 99
2017	1	18～ 19	当社1階フロアにて出庫商品検品完了後のパレット集約時によろけてしまい、後ろに置いてある別企業様のパレットに躓いてしまい後方へ転倒し、左膝を着いた時に肩を痛めてしまった。	62	379	2	300 ～ 499
2017	1	11～ 12	倉庫内において、製品である鋼材の出荷作業中、製品をトロッコ（H60cm、キャスター4つ）を使用して運ぼうと手で押した時に、キャスターの向きが悪かったためバランスを崩し手前に倒れた。その際、トロッコの上に乗っていた製品が両足の大腿部に落下し、乗る状態になったが、右足側に荷重がかかっていたため、右足大腿部を負傷した。	24	362	4	1～9
2017	1	7～8	バースに車両後部をつけ、車両後部のゲートを荷降しの為下げていた際、先に地面に降りたところ、地面の溝に右足が挟まり転倒し、右足首を負傷した。	52	419	2	100 ～ 299
2017	1	8～9	配達先構内にて荷降ろしの為トラックの荷台へ上ろうとした際、何らかの理由により足を滑らせ地上へ落下し、頭部を強打したと思われる。その後も目まい・ふらつきの症状があり、現在加療中である。	65	221	1	30～ 49
2017	1	10～ 11	荷下ろし先の敷地内で荷下ろしする為に傾斜している道路にトラックを停車し、ドアを開け、座席横に右手をつき運転席から降車しようとした際に右手が滑り、転落した際、左顔面・首等を石垣等に打ちつけ負傷した。	64	221	1	—
2017	1	17～ 18	パーツセンターE部品庫にてリーチリフトでバック走行、部品保管棚とリーチリフトとの間に、右臀部を挟まれ被災した。	40	229	7	300 ～ 499
		14～	保税地域内にある倉庫の外において荷役作業中、破れ・濡れ等のある商品をパレットに載せる作業中、リフトを使わず手でパレット				30～

2017	1	15	(110×130、重さ20kg)を移動させる際、手が滑ってパレットが左足の上に落ち、左足甲に当たり亀裂骨折した(安全靴着用)。	43	379	4	49
2017	2	8~9	職場の敷地内で荷物を運んでいたら荷物を持ったまま転倒し右手首を骨折した。	54	417	2	10~ 29
2017	2	11~12	倉庫内にて、フォークリフトで商品の載ったパレットをラックの2段目に格納する際、最上部の商品1ケースが載っていることを見落とし、その商品がラックの枠にぶつかり落下し、左手にあたり負傷したもの。発生当初は、負傷箇所を固定し休業せずに勤務を続けその後もリハビリを続けていたが、1年経過しても回復が思わしくない為、今回手術をすることになり、休業が発生したものである。	50	611	4	50~ 99
2017	2	15~16	倉庫2Fの床上に置かれたパレット上の本の束(重さ5kg程)を両手で持ち上げたところ、腰に激痛が走り立ち上がることが出来なかった。	48	379	19	50~ 99
2017	2	14~15	冷凍倉庫内でパン生地の棚卸し作業中、移動式ラックが右に動くようにスイッチを入れた後、作業のし忘れに気付いた。スイッチを止めて、ラックの中に入り、作業をしようとしたところ、スイッチを止めたつもりが勘違いで止まっていなかったためラックも止まらずに動いてきてしまいラックの下の隙間に左足が挟まり負傷した。	31	362	7	30~ 49
2017	2	18~19	ラクタークレーンで帰庫しラフタークレーンから降りる際、着地時に左足を捻って負傷してしまった。	32	212	1	50~ 99
2017	2	13~14	入口階段中央のスロープで台車を押している納品業者がいたので、自分が邪魔になると思い通路横に避けたところ、階段を踏み外し壁に胸を打ちつけた。	56	413	2	—
2017	2	8~9	本社工場にてフォークリフト荷役作業中へ荷物の降ろし場所を指示するためフォークリフト左側面に近づき荷役作業中へ指示したところ、フォークリフトが右旋回しフォークリフト後方のウエイト部分	37	222	6	10~ 29

			が左側へ大きく動いたため、身体が接触し、バランスを崩して転倒し、右足がフォークリフト左後車輪に挟まれた。				
2017	2	16~17	当社は建設資材の搬入代行を業務としているが、戸建新築現場に構造用木材の搬入作業中、搬入後何も持たないで戻る歩行中に砂利道で右足をひねり捻挫した。	56	911	19	10~ 29
2017	2	11~12	置き場でコンクリート枡を吊るユニック作業をしている時に、アイボルトの取付場所を間違っていることに気付かずにユニックで吊るし作業で上げた時にアイボルトでつけたワイヤーが2点だったために1m位あげたところで枡が回り2段だったコンクリート枡の1段目が右脚の上に落ちてきた。	47	212	4	10~ 29
2017	2	15~16	工場内の準ライン作業工程で、自動車部品の包装作業中、部品に入った箱が右側より流れてくるのを、右手で止めようとして弾かれ、右手を負傷した。	47	611	6	—
2017	2	11~12	作業者が通路右側を台車を引きながら、歩行していた。事故現場に差し掛かった時、リフト作業者が後退した。通路に出て、左旋回した際、右手後方の確認を怠り、作業者に接触した。作業者左足をリフト右後輪に踏まれ受傷した。	69	222	7	100 ~ 299
2017	2	17~18	構内にて、段ボールの梱包荷（180×50×20cm、4~5kg）をリフトより大型トラック荷台へ手積作業中、3個目の荷積動作の際、足下の確認不足により、荷台より踏み外し、頭部より転落した。	59	221	1	—
2017	2	15~16	トラックより降ろされたかご車の中から荷物を探す作業中、荷降し場（高さ1m）の端に来ていることに気付かず足を踏み外し、約1m下のスペースに転落し負傷した。	29	419	1	300 ~ 499
2017	2	14~15	当社車庫内にて、運転席に座り、助手席に置いてあった荷物を動かそうとした際、運転席の肘置き部分に左脇腹をぶつけ、負傷したものである。	46	231	3	1~9
			業務用エレベーター2階からカゴ台車を載せ、1階で降ろす作業をし				

2017	2	16~17	<p>ていたところ、エレベーター扉のワイヤーロープが切れ、4mの高さから扉が落下した。扉がカゴ台車に衝突し、その衝撃によりカゴ台車が後頭部、背中、臀部に衝突した。前方に跳ね飛ばされるように転倒した。</p>	40	362	6	—
2017	2	14~15	<p>納品を終えて駐車スペースから車両を動かすため車両の右後方からバックの誘導をした。ストップの音を出すも止まらず、壁面と車両の間に左前腕を挟んでしまった。業務を進めるも痛みと腫れが増したこともあり、救急搬送され、病院を受診したところ、左手首を粉碎骨折していた。</p>	33	221	7	—
2017	2	11~12	<p>当日、駐車場でタンクローリーのハツリの上で点検作業後、梯子から下りる時足を滑らせて、バランスを崩し体を捻って負傷した。</p>	45	221	19	30~ 49
2017	2	10~11	<p>朝礼を行い、その後ピッキング業務を開始する。しばらくして休憩となり現場3Fより休憩室のある事務所棟3Fへ移動する。階段を下りる際に後方を歩いていた他従業員に防寒着の汚れを指摘される。防寒着を脱ぎ左手に持ち、汚れを叩き後方の2名と会話をしながら階段を下りているところ、左足を踏み外し転倒する。</p>	33	413	1	30~ 49
2017	2	2~3	<p>荷捌場（ホーム）で台車に接触し転倒した。頭や腕、足を負傷したものである。</p>	70	362	6	50~ 99
2017	3	18~19	<p>市場にて集荷作業中、パレットの上に乗る人参の入った箱を右から左へ移動させていたところ、体勢を崩し、パレットからズリ落ちたはずみで右足に力が入ったとき、ふくらはぎに激痛がはしった。</p>	47	379	19	50~ 99
2017	3	16~17	<p>業務終了後、会社送迎バスにパート社員6名を乗せ営業所を出発し、運行ルートに合わせ走行中、交差点を右折レーンから信号機の右折矢印が点灯したことを確認し、交差点へ進入した。右側の横断歩道を確認して右折しようとしたところ、対向車線を走行してきた車が送迎バス車体の左側に衝突した。事故の衝撃により、乗車していた6名のうち1名が揺れる社内で手をつき、右手親指付け根を骨折した。</p>	63	231	17	100 ~ 299

2017	3	10~11	倉庫2Fフロアから両手で荷物を（書類の束）抱えて1Fへ階段を降り始めたとき、上から2段目で足を踏み外し、倒れずに勢いよく下り踊り場正面の壁に激突して右顔面を強打し、右膝から倒れ床に強打した。	69	413	3	100 ~ 299
2017	3	11~12	1階の出荷バースにて、シュートより流れてくる商品をカゴ車に積み替える作業中、他者がカゴ車を運搬していたが、周辺にカゴ車が散乱しており、作業場所が十分確保できておらず、被災者の左大腿にぶつかった。	46	362	6	100 ~ 299
2017	3	11~12	倉庫2Fにて垂直搬送機防護柵固定棒設置作業を2名で開始し、垂直搬送機の非常停止ボタンを押してローラーコンベア上にて固定棒を設置しようとしたが、寸法が合わず作業を中止した。共同作業者と固定棒を持ちローラーコンベア上からフロア上に移動しようと、後方を良く確認せず移動した際、開口部に気が付かず転落した。	39	414	1	100 ~ 299
2017	3	14~15	梱包作業所で梱包済みの小さめのダンボールを机からパレットに移動する際、肩幅より小さい幅のダンボールを持ち運ぼうとしたところ、大きさから予期できない重さ（15kg以上）があり、抱えきれず反動でパレットに置くときに腰を捻り、強い痛みが腰にはしった。早退後も強い痛みが引かず、コルセットでの腰固定やリハビリが必要となった。	54	611	19	50~ 99
2017	3	13~14	入荷した商品を空オリコンに部門別に仕分けをし、パレットに積みつける作業を行っていた。パレットの上に乗る、次の空オリコンを取ろうと思い気を取られた結果、下に置いてあるパレットを見落とし、フォークの爪を差しこむ穴に左足がはまった状態で倒れた。	43	222	7	50~ 99
2017	3	10~11	荷物を積んだカゴ台車をトラックから降ろし歩道に上げる際、被災者は1台目の後方から台車を押しており、2台目のカゴ台車を押すスタッフ2名は、前方の状況を確認せず歩道に上げるため強くカゴ台車を後方から押したところ、被災者の踵に2台目のカゴ台車が直撃し受傷した。	24	611	7	300 ~ 499

2017	3	14~15	作業終了後、空カゴをトラックに積み込む際にゲートのストッパーのスプリングが外れてストッパーが格納されず空カゴが倒れてきて、右足の甲を負傷した。	55	362	5	30~ 49
2017	3	9~10	保管棚エリアにおいてフォークリフトに乗って棚入れ作業時に、急施回・急加速してしまい、後ろの棚とフォークリフトに挟まれ下腹部を強打し、坐骨を骨折した。	47	222	7	500 ~ 999
2017	3	14~15	機内清掃作業において機内へ入船する為、PBB（旅客搭乗橋）階段を上がり入口から入ろうとした際に、PBB入口部分とフロアとの段差で右足首を挫いた。	47	417	2	1000 ~ 9999
2017	3	14~15	納品中、商品満載（ビール約300kg）のカゴを搬入する際に傾斜でバランスを崩し、商品を支えようとして足を踏ん張った際に股関節を痛めた。	53	611	19	100 ~ 299
2017	3	11~12	ストレッチフィルム包装された品物のストレッチフィルムをカッターで剥がす際に、ストレッチフィルムを持っていた左手人差し指にカッターが当たり、指先15mm位を切ってしまった。	23	364	8	10~ 29
2017	3	9~10	水平なコンクリートフロアでトイレへと向かうため歩行中、自分の左足に右足を引っ掛けて、転倒した。	64	921	2	100 ~ 299
2017	3	11~12	宅配ホームの残荷のPDT入力をする際に、カゴ車に積んであった2個1梱包の水の荷物を持ち上げ移動したところ、腰に痛みを感じ動けなくなった。	33	921	19	10~ 29
2017	3	14~15	工場内で製造ラインの清掃をしていたところ、ベルトコンベアの間隙に足を滑らせ、左足をベルトに打ちつけ負傷した。	31	224	3	10~ 29
2017	3	16~17	工場内の段差のある通路にて設備機械を台車で搬送中、段差にキャスターが引っかかり転倒したとき、設備機械と接触し、左足太ももと左足甲を負傷した。	46	612	6	30~ 49
			倉庫内で、ホームと接車しているトラックの荷台に乗り込もうとし				

2017	3	13~14	たところ、トラックが前進して足を踏み外し、ホーム下に転落し、踵から落ちたときに左足の踵を負傷した。	44	418	1	10~ 29
2017	3	8~9	自社の車庫において4tトラックに乗車する際、コンクリートブロック（たて20cm×よこ20cm×高さ60cm）の上に足を掛けて乗車しようとしたところバランスを崩し、後向きに倒れ、背中と後頭部をコンクリートの床面で打撲して負傷した。	70	529	1	1~9
2017	3	2~3	製品仕分け及び荷揃えを行うように仕分場にて荷を固縛する為に、パレットのフォーク差入口にバンドを通そうとした。右膝を床につきしゃがんだ姿勢から、右手を強く振りバンドをフォーク差し口に投げ入れた際、右脇腹付近を捻った。当事者は腰痛の診療を受けており、ブロック注射とコルセット着用を処方されたが、当日はコルセットを外していた。	40	921	19	1~9
2017	3	15~16	倉庫入口のシートシャッターのセンサーを感知させて開けようと、シャッターの前に立った。立ち位置が悪くセンサーが感知しなかったため、後ずさりをして立ち位置を変えようとした時、バランスを崩し尻もちをつきそうになったので、咄嗟に両手で地面をついてしまった。その時の衝撃で、左手首を骨折し、右手首を捻挫してしまった。	57	417	2	30~ 49
2017	3	6~7	並走するベルトコンベアの間通路に立って、荷物を載せるローラーへ荷物を押し込むように仕分け作業を行っていた時、足元に置いてあった荷物につまずきバランスを崩して転倒した際に、右側の腰をベルトコンベアのフレーム部分にぶつけ負傷した。	47	611	2	50~ 99
2017	3	18~19	埠頭にて、ダンプが倉庫から出る際の足回り（タイヤ）の洗車作業に2人1組で従事していた。トイレに行きたくなり、トイレに行つてトイレから出るとき、15cm程度の段差に足を踏み外し、足首を捻って右第5中肢骨を骨折した。	56	417	2	50~ 99
			倉庫内にて台車運搬作業中に、本来禁止されている前進走行で走行				

2017	3	19~20	<p>していたフォークリフトと接触し、左足を車輪に巻き込まれた。</p> <p>フォークリフトがパレット又は商品の陰に隠れ、被災者がフォークリフトの存在に気付かず、前進走行のフォークリフトもブザーを鳴らさず、走行速度も速かったため、回避することができなかった。</p>	22	222	7	10~ 29
2017	3	14~15	<p>倉庫内でピッキング済みの折りたたみコンテナをドーリーからパレットに積み替えている最中、走行してきたフォークリフトに接触し被災した。</p>	41	222	3	100 ~ 299
2017	3	16~17	<p>乗務中、商品配置をリフトマンに指示をしているとき、リフトマン操作中のフォークリフトが右足上を走行し負傷した。</p>	48	222	7	10~ 29
2017	3	13~14	<p>当社車庫兼資材置場にて鉄骨の荷おろし中、鉄骨に軽く左手薬指がひっかかり負傷した。</p>	55	521	3	1~9
2017	3	21~22	<p>フォークリフト通路脇のクレート保管場所で、作業後の片付けとして積み重なったクレートからラベルを剥がす作業を行っていた。</p> <p>パレットから積み重なったクレートを降ろそうと傾けた際に、それを支えようとして右足がフォークリフト通路へはみ出し、通りがかったフォークリフトの車輪と接触し被災した。</p>	20	222	7	50~ 99
2017	3	21~22	<p>自社倉庫内にてお客様から回収したコピー機を解体した後のパーツの分別作業中に、トナーを入れるダンボール箱を廃棄する工程に於いて、ダンボール箱を圧縮するために積み重ねたダンボール箱の上に両足で乗った際、バランスを崩して転倒した。</p>	34	418	2	10~ 29
2017	3	16~17	<p>当社、整備工場内にて、昇降用のアングル加工作業中、アングル（L字型の鋼材:縦5×横5×長さ88cm）を床に置き、ハンマーで先端切り込み部の曲げ加工をするため殴打していた。その際、殴打の衝撃でアングルが跳ね上がり、先端の鋭利な切断面が被災者の左手薬指に当たり、先端部分を負傷した。</p>	55	521	4	50~ 99
2017	3	0~1	<p>ホームに車両が接車後、停車したと思って積み込みを開始しようとしたが、ドライバーは車両の向きが斜めになっていたので前進を行った。その際、本人は積み込みを開始していたため、ホームか</p>	22	416	1	10~ 29

			ら転落してしまった。				
2017	4	17～ 18	競馬場内で物件を積込作業中に、台車をテールゲートに乗せようと足を踏ん張り押していたところ、後方から送られていた鉄台車が左足首後部にあたった。	44	362	6	100 ～ 299
2017	4	18～ 19	荷台で空パレットの整理をしている時に、パレット引っ掛け棒を使って移動しようとしたところ引っ掛け棒が外れて、その反動で体勢を崩し、空パレットに右ひざが激突した。	51	611	3	1～9
2017	4	0～1	店舗納品時、1台目のカート台車をゲート上に置き、2台目のカート台車を取りに行く時、1台目のカート台車のストッパー（ブレーキ）をセットしたつもりがセットになっておらず、駐車場所に逆駐車したため車両前方に傾斜がついてるので、1台目のカートが動き出し、次のカートと前方に動き出したカートに足と背中を挟まれる。	68	362	7	10～ 29
2017	4	20～ 21	倉庫内でピッキング作業中、商品の確認を実施するため空パレットの上に乗ったとき、空パレットの上から降りる際に足をふみはずし転倒した。	46	417	2	1～9
2017	4	10～ 11	大型車運転中、前方の大型車の前の乗用車が急に右折ウインカーを出し急停止したため、前方大型車が急ブレーキをかけ、止まりきれず追突し腰を負傷した。	47	221	3	10～ 29
2017	4	16～ 17	請負先において、トラックの荷台からホームに荷物を運搬中に、通常はフォークリフトで荷降ろしをするが、トラックの荷台から手で下した木箱（約50kg）をトラックホームに持ち上げる際にバランスを崩し足に落下し、左足親指の爪が剥がれた。	21	611	4	50～ 99
2017	4	16～ 17	出荷梱包エリアにおいて、商品の梱包作業をしていた際に、長時間・連続的に重量のある商品を梱包していたために、両腕に負担がかかり、左手親指および右手親指、薬指、小指に痛みとしびれが発生した。	59	611	19	30～ 49

2017	4	17～ 18	駐車場2にて貨物搭載中に、逃げ出した犬を捕獲するため航空機貨物室内へ入った際、犬が興奮状態で体へ覆い被さってきて、左腕と右足を噛まれた。	35	719	90	～ 9999
2017	4	3～4	駐車場にて、折りたたみコンテナ入りのからカゴを回収している際に、駐車場の溝にカゴのタイヤが挟まり、カゴを転倒させてしまい、カゴが足の上に落下した。	50	419	6	10～ 29
2017	4	19～ 20	翌日配送の荷物を積み終え、運転席に戻ろうとトラック接車バースより地面に飛び降りた際、落ちていた木片に右足が乗り、バランスを崩し足を捻った。	52	416	3	10～ 29
2017	4	16～ 17	小物払い出しエリアにて、ロケーション変更のためボルトの入った箱（1箱13kg）をパレットへ移し替えの作業中、右ひざを捻り半月板損傷を負った。	36	611	19	30～ 49
2017	4	15～ 16	構内にてトラック荷台後部より降車しようとしたところ、トラックの後部のバンパーにあるステップに足が乗らず、後方に転倒するかたちで地面に落ち、右腕を強打した。	51	221	1	50～ 99
2017	4	14～ 15	弊社内、倉庫ヤードにて、出荷製品仮置中に突然強風を伴う降雨が発生、製品漏損を防ぐために緊急的にブルーシートを被せる作業を実施した。パレット3段積製品上部へ被せるにあたり、作業員をフォークリフト（爪部分）で上部まで持ち上げ、作業していたところ、雨で足を滑らせ、約3メートルの高さから地面へ落下した。	44	222	1	1～9
2017	4	12～ 13	バルク車に製品を積込ため積込バースに駐車し、運転席から降りるためドアを開け、運転席内に設置されているグリップ（握り棒）を持ちながら降りようとしたが、手が滑り運転席から地面に落下した。地面に落下した時の衝撃により、肋骨、腰椎横突起を骨折した。	42	221	1	30～ 49
2017	4	15～ 16	休憩に入るため4階北側エレベーター前を通る際、置いてある破損商品から液体が漏れて床面が濡れていたため、足を滑らせ転倒し、腰部と胸部等を強打した。	60	417	2	300 ～ 499

2017	4	13～ 14	出庫のため商品をとろうとしていた際、少し高いところにあっただので、その下の高さ1.5mほどの商品の上に乗ってとろうとした。取る際に乗った商品のダンボールがくずれて落下し、右側から尻もちをつき強打した。床はコンクリートのため激痛が走ったが、その後は痛みが引いたので作業を続けた。しかし、パレットをひく際に痛みを感じるようになった。	35	611	1	50～ 99
2017	4	9～ 10	3車線ある道路の一番左車線をバイクで走行中、中央車線を走行していたタクシーが前方に路上駐車していたタクシー運転手が手招きしたため、後方未確認のまま、急に車線変更してバイクの前に進入してきた。ブレーキをかけたが間に合わず、タクシーの左側面後方角の辺りに追突し、はずみで横転し、右足首ねん挫、膝打撲、すり傷を負った。	46	231	17	10～ 29
2017	4	8～9	ピッキングフォークでネステナー2階にある棚に入荷してきた商品の格納作業中、フォークに差していたパレットに足を乗せたところ、パレットが割れ破損した。約2メートルから落下し、仰向けの状態で背中から床に落ち後頭部を強打した。ヘルメットは着用していたが、顎紐をしていなかったので落下中に外れてしまった。また、安全帯も使用していなかった。	39	222	1	50～ 99
2017	4	9～ 10	センター内で空車になったトラックの荷台に入り残荷確認を行ったあと、トラックから降りようとした際、トラック荷台の角に足が引っ掛かって落下し、地面にて左足膝を強打した。	44	221	1	50～ 99
2017	4	10～ 11	パイプ選別機の機械トラブル時、機械を停止せず不用意に起動部分に手を置いたためスクリュウ駆動チェーンに巻き込まれた。	68	224	7	10～ 29
2017	5	11～ 12	隅入段ボールの搬送のため、倉庫荷受場から仕分場へリフトを運行していたところ、無意識の内にブレーキペダルから足が外れ、急ブレーキが掛かった状態になり、リフトから身体が弾き出されて落下し、右足の裏側を強打し、右大腿・下腿を打撲した。	68	222	1	100 ～ 299

2017	5	10～ 11	コンテナ荷捌き土場にて、コンテナ内に納められた荷物にロープを掛ける作業中、ロープの掛かり具合を確かめるべく、力を込めてロープを引いたところ、ロープが外れ勢いで転倒し、頭部を強打した。	62	379	3	10～ 29
2017	5	19～ 20	貨物ホームにてトラックの荷台から荷物を持ち後ろ向きに荷運びしていたところ、トラックとホームの隙間を踏み外し、地面に落下した。	31	221	1	30～ 49
2017	5	11～ 12	倉庫内にて、パレットに積載された箱物（W900×H1800×t30）を一人では無理と思ったが少し寄せようとし、PPバンドを掴み持ち上げようとした際に腰に違和感があった。日常的に腰痛があったのでその程度だと判断したが、腰や背中に痛みが増し、腰椎捻挫となった。	41	921	19	30～ 49
2017	5	17～ 18	ピッキング作業中、重量ラック1段目ロケーションに商品がなく3段目リザーブ商品置き場に対象商品があることを目視で確認した。本来であればリフトマンがフォークリフトにて商品を降ろすところ、対象パート社員は出荷時間等で焦りが生じて自力でラック2段目に登り3段目リザーブ商品に手を伸ばし取ろうとし、バランスを崩し落下し、頸椎捻挫、腰部打撲、後頭部打撲を負った。事故発生時、本人の意識はあり、自力で動ける状態であった。頭部の確認（瘤が出来ていた）後、休憩所へ移動し様子を見た。	43	416	1	30～ 49
2017	5	11～ 12	構内において、フォークリフトを使用してパレットの移動作業中、フォークリフトに乗り込もうとヘッドガードの手すりを左手で掴み、左足をステップに掛けた際に、ステップが雨で濡れており、うっかり左足を滑らせてしまい、その拍子に体のバランスを崩して倒れそうになったので、咄嗟に両手をフォークリフトのステップについて転倒するのを防いだが、両手をついた時の衝撃で右手と首を負傷した。	53	222	1	10～ 29
			事業場内にて荷物の仕分け作業中、パレットに荷物を持って載せる				

2017	5	13～ 14	際、床に置いてある空のパレットに足を滑らせ左手から地面に着き、左手甲を痛めた。	26	416	2	30～ 49
2017	5	5～6	引き込みした貨物の仮積みを終え、荷引き作業に戻ろうとしたところ足がもつれ転倒し、センターベルトの鉄板部分に額左側をぶつけ裂傷した。	36	417	2	30～ 49
2017	5	18～ 19	倉庫内にて商品管理作業中、同じく運転作業中のフォークリフトと接触し、車両に巻き込まれた際に右足踝骨折、右足かかと開放創を負う。	63	222	7	100 ～ 299
2017	5	0～1	被災者は、夜から翌朝までのシフトで、倉庫内のピッキング作業に従事していた。棚の一番高い箇所の商品（片手で持てる程度の大きさで軽量）を取るために、踏み台を使用してプラモデルをピックアップし、踏み台から降りるために右足を床に着いた際に右足ふくらはぎに痛みを感じた。	59	417	3	300 ～ 499
2017	5	21～ 22	当事業場内において、業務終了後、出勤簿に退勤時間を記入する事になっているが、しばらく経っても事務所に現れない為、探しに行ったところ、被災者は床に倒れており、意識はあるものの自力で立ち上がれない状況だった。転倒した際に顎を強打したと思われる、顎からは出血し、歯が欠け、吐き気があった。	31	417	2	100 ～ 299
2017	5	19～ 20	宅配センター受付カウンターにおいて、宅急便で発送する商品を、お客様から受付けて梱包場へ移動しようとして商品をビニール袋にまとめるためにしゃがんだ時に、梱包場出入口の柱の角に左膝をぶつけた。	44	418	3	100 ～ 299
2017	5	4～5	明け方、仕事からの帰宅途中、運転中に具合が悪くなり、道路の中央で意識がない状態で病院に運ばれ、心不全で死亡した。	35	921	90	300 ～ 499
			被災者（以下「甲」という）は、派遣先において、商品の入出庫業務に従事中、バス上でパレットに積まれた入荷商品のラップを剥				100

2017	5	10～ 11	がす作業中に、引っ掛かったラップを強く引っ張ったところ、バランスを崩して転倒しそうになり、バースを踏み外して転落し（1m）、左半身を強打して負傷した。原因は、甲の不注意によるものである。	35	414	1	～ 299
2017	5	15～ 16	荷主様倉庫において、商品（リーチフォーク）を配送するため、トラックの荷台に積載し、ラッシングベルトで荷締めをし、荷締め具合を確認するためにラッシングベルトを左右に揺さぶったところ、マスト上部のラッシングの帯がリーチフォークの後方にずれて緩んでしまい、バランスを崩して荷台から落ち、着地した際に右足かかとを床面に打ちつけ負傷した。	42	221	1	30～ 49
2017	5	10～ 11	引越元での作業において、3人掛けソファや冷蔵庫を右肩にのせてトラックへ持ち運ぶ際に、首への負担がかかり、首に痛みを感じた。その後、引越作業をせず様子を見ながら引っ越し先まで行ったが、首の痛みは止まず、首を動かすこともできない状態となった。	22	612	19	10～ 29
2017	5	8～9	カゴ台車にて納品をする際、マンホールにタイヤが挟まり、カートが倒れてしまった。それを支えようと右手を差し出したため、右腕がカートの下敷きとなってしまい、右肘と右手首を負傷した。	51	419	6	100 ～ 299
2017	5	10～ 11	倉庫内の職場において検品作業中、BOX商品5セット入り（約15kg）数箱を連続してローラーコンベアにのせる際に腰に痛みを感じた。重い荷物だったが、蹲踞（そんきょ）の姿勢をとらずに前屈みで持ち上げたため受傷した。痛みはあったが定時まで無理をして作業を続けた。	44	611	19	500 ～ 999
2017	5	8～9	1階で入荷検品作業中、2段重ねの枠付きパレットの上段を自力で降ろそうとしたが、重量（約50kg）を支え切れずに落下し、床面との間に左手を挟んだ。	27	379	4	30～ 49
			商品のピッキング作業中、飲料ケース（2リットルペットボトル6本入り、約15kg）1箱を持ち上げたところ腰に痛みが走り、腰椎捻挫				50～

2017	5	8～9	をした。その後は荷物を持たずに済む作業に変えてもらい、そのあと通常に勤務したが、痛みがとれなかった。	31	611	19	99
2017	5	16～17	商品配達の帰りの運転中、追越車線を走行中に走行車線から追い抜いてきた車をよけようと左にハンドルを切った際、ハンドル操作を誤り、側壁へ衝突し、転覆して停止した。	73	231	17	10～29
2017	5	15～16	倉庫内での出荷作業中において、高さ180cm程積んである製品を下ろそうとして両腕で製品を持った時に、右肩に激痛が走った。製品は1箱3kgで、6箱を一度に持った。	24	611	19	10～29
2017	5	16～17	2階出荷場にて出荷商品のピッキング作業中に、棚に次の商品を取りに行こうと商品を載せた平台車を押して移動中、躓いて転倒した。その際に右手を床に着いたため、右手手首を骨折した。	68	362	2	50～99
2017	5	11～12	倉庫内で、ピッカーリフトを使用して商品荷出中に、高さ約3mから足を踏み外し転落し、頭を強く打った。	59	222	1	1～9
2017	5	17～18	プラットフォーム（荷降し場）から降りる際、踏み台の端に足を掛けたためにバランスを崩して転落し、右手を地面についたため衝撃で右手首を骨折した。	58	419	1	30～49
2017	5	18～19	構内作業場でカゴ車を移動中、カゴ車の向きを修正しようとした際に勢いをつけ過ぎて、左足小指（安全靴の保護部との境目）にカゴ車のコマが乗り上げて負傷した。	28	362	7	10～29
2017	5	13～14	被災者は、床上操作式門型クレーンを用い、仮置きしていた桁材の移動作業を行っていたところ、玉掛け作業を行う為、吊具のクランプ方向を見ながら近づいて行った際、足元桁材の隙間（50cm）に足を踏み外し、1.6m下の地面に転落し、左大腿骨を骨折した。	58	521	1	1～9
2017	5	0～1	天井クレーンの運転席よりクレーン操作を行っているとき、クレーンの操作は両手でレバーを操縦し、また左手はノック操作が加わりずっと押しっぱなしの状態であった。手の平が痛くなり、常に両手のレバー操作があり、肘より先が痛くて痺れ、両側遅発性尺骨神	64	211	19	10～29

			経麻痺と診断された。				
2017	5	14～ 15	当社ヤード構内において、4tトラック荷台扉の開閉作業時に足を滑らせて荷台から落下し、右手首を複雑骨折した。	50	221	1	10～ 29
2017	5	8～9	20フィートコンテナ内にて荷下ろし作業中（バラ積商品をパレットに積み付け）、商品を積み付けたパレットを車両後方に移動していたところ、荷下ろし前の商品が突然倒壊し、当該作業者の背中側から崩れてきた。その際、商品に押される形となり、前方に体勢が崩れ右膝をパレットに強打した。	20	611	5	100 ～ 299
2017	5	13～ 14	事務所の移転の為、車庫にあるエアーコンプレッサーをフォークリフトですくって持ち上げトラックに載せようとしたところ、コンプレッサーの下部が丸くなっていたので、コンプレッサーが倒れて下に落ち、その反動でバウンドして荷物が本人の右足の先に当り骨折した。	49	611	4	10～ 29
2017	5	13～ 14	材木の上に乗って作業をしていて地面に下りた際、下にあった材木の上に乗ってしまい、右足首を負傷した。	25	522	3	1～9
2017	5	10～ 11	倉庫内で棚の上にある商品を取ろうとして脚立に上り作業をしていた時、足を踏み外し転倒してしまった。	62	371	1	50～ 99
2017	5	9～ 10	工場内洗車場において、脚立を使用してのダンプの洗車作業中、脚立の三段目から下の二段目に右足を掛けようとしたところ、足を踏み外したはずみで右手から地面に倒れ落ち、右手肘を負傷した。	46	371	1	10～ 29
2017	5	14～ 15	片付け作業中に水たまりに足を滑らせて転倒し、尻もちをついた際に手もつき、腕を骨折した。	50	417	2	1～9
2017	6	6～7	10tトラックユニック車を洗車作業中、キャビンの上を拭きとりの際、トラックのアウトリガー（高さ150cm位）に右足を乗せ、脚立（高さ170cm位）に左足を乗せて、脚立に移動しようとしたところバランスを崩し、脚立の上に落ちて負傷した。アウトリガーと脚立の差は20cm位で少し脚立がグラついていた。（長靴、つなぎ服	34	371	1	30～ 49

			着用)				
2017	6	15~ 16	倉庫入り口付近にて、麦が入っているフレコン（重さ約1t）をトラックへ積み込む作業中、フレコンを吊り上げるため、ショベルローダーのフォーク先端部分に取り付けていたロープを、フレコンの吊りベルトにくぐらせ、フォーク先端に掛けようとした際、先にショベルローダーが吊り上げてしまい、被災者が持っていたロープが引っぱられ、ロープと吊りベルトの間に被災者の左手親指が挟まれて受傷した。	67	225	7	10~ 29
2017	6	11~ 12	コンテナ修繕庫内で、本人は修繕コンテナの左下ヒンジ曲がりの修繕をするために、治具をヒンジに挿入し、修繕を開始した。治具を挿入し、開戸合わせ目の部分を何度か押した瞬間、治具が割れて抜け、その反動でバランスを崩して、右膝をフォーク車止めに強打し受傷した。	20	391	3	100 ~ 299
2017	6	9~ 10	当日、本人は機関車の運転台清掃と前照灯清掃を行う作業に従事していた。前照灯清掃の時、列車標識掛けに足を掛け、前照灯の清掃を開始する際、バランスを崩した。その際、取り付けていた安全帯の金具が外れ、ピット上に渡している木製版の渡り板の上に約1.5m落下した。当日、本人は安全チョッキ・ヘルメット・安全靴・安全帯を使用して作業を行っていた。落下した衝撃で、左足首の痛みと頭の痛みがあった。	18	232	1	100 ~ 299
2017	6	23~ 24	前室から冷凍庫へカートを移動中、冷凍庫入り口付近にて、冷凍庫の開閉扉を開けようとカートを置き、急ぎ足のまま足を前に踏み込んだ際、勢いよく滑ってバランスを崩してしまい、土下座するような形で倒れてしまった。冷凍庫用安全ブーツを着用していたが、ブーツの先にある防具部分（金具）と靴底とで足の甲を挟む形となり、右第5中足骨を骨折した。急ぎ足での移動は危険なため禁止していたが、慣れにより注意力が散漫になってしまった。	28	417	2	50~ 99
			倉庫内のダンボール保管棚にあるダンボールを取るため、脚立を昇				

2017	6	11～ 12	降面が保管棚に対して平行になるように置き、脚立に上り始めたが、目線が上方向で階段のステップを確認せず、また体を曲げた状態であったため、2段目ステップを踏み外したと同時に体勢を崩して脚立と共に倒れ、コンクリート床面に左肘と左足首を強打した。	39	371	1	100 ～ 299
2017	6	9～ 10	当社作業場内にて積み替え作業中、荷物が高く積まれていた為、手前にパレットを敷き作業を行っていた時、誤って足を踏み外し転倒した際、左第五趾を負傷した。（安全靴を履いて作業を行っていた。）	62	379	2	10～ 29
2017	6	8～9	倉庫1階の「BOXインダクション」作業場において、箱開けの補助作業を行っている時、箱開けした商品を、投入者側（右側）に押し出す際、腰に痛みが生じた。	43	611	19	100 ～ 299
2017	6	15～ 16	倉庫4Fにて徒歩で移動中、扇風機の配線を保護しているカバー（高さ約2.5cm）に足をかけ、躓き転倒してしまい、左足（膝）を打撲してしまった。	52	611	2	100 ～ 299
2017	6	11～ 12	物流センター内倉庫で商品の荷崩れを直そうとした際、足を踏み外して棚上（高さ約1.6m）から落下し、腰と肘を床に打ちつけ打撲したものである。	30	379	1	10～ 29
2017	6	7～8	弊社倉庫内において、商品の積み込み作業中、商品を持ち上げた拍子に腰を痛めた。	38	611	19	30～ 49
2017	6	15～ 16	倉庫内より荷受け前室に出ようとフォークリフトを直進させていた際、右側にハンドルを切った際に車体が曲がらず、慌ててフットブレーキをかけてしまった為、そのまま滑って前方にあったガードポールと接触した。その時、咄嗟に足を出してしまった為、ガードポールとフォークリフトに足を挟まれた。	28	222	7	10～ 29
2017	6	16～ 17	搬入口にて、荷物をパレットへの載せ替え作業中に、意識が朦朧として、転倒し負傷した。	39	715	11	50～ 99
			当社事業所において、トレーラーの上の荷材（長さ8650mm、幅				

2017	6	13～ 14	2770mm、高さ180mm、重さ4600kg) をクレーンで荷卸し中、吊っていた荷材がバランスを崩し、揺れたため避けようとトレーラーの上から飛び降りたところ転び、下にあったパレットの上にあったバルブに頭部上額部をぶつけ、裂傷した。	35	221	1	1～9
2017	6	8～9	自社倉庫内で移動中に、コンテナへ積み込みに使用するレベラーに右足を引っ掛けて躓き転倒し、骨折をした。	58	417	2	50～ 99
2017	6	20～ 21	自動搬送ローラーのステップを渡ろうとした際、折り畳み式コンテナがステップの脇に置いてあり、それを降りながらかわそうとした。その際、片手で折り畳み式コンテナ、もう片方の手で手摺を持ったところ、折り畳み式コンテナが崩れて、バランスを崩し、右足で折り畳み式コンテナ投入用ラインローラーを踏みつけて捻ってしまい、受傷した。	50	379	3	100 ～ 299
2017	6	14～ 15	交差点で信号待ちのため停車中、相手方に追突され負傷した。	33	231	17	50～ 99
2017	6	12～ 13	折りコンに商品を詰め込む作業をしている時、コールドスプレー(480ml) を詰めようとしたところ、手を滑らせて商品を足の上に落としてしまった。	37	611	4	300 ～ 499
2017	6	16～ 17	倉庫内仕分けライン内にてピッキング作業中、最上段の製品を手前に引き寄せる為、ラックに足をかけ製品を手にしたところ、身体のバランスを崩し、転倒して尻もちをついた際、左手から着地した。転倒時、左手首にかなりの痛みを感じたが、湿布を貼り、作業を継続した。帰宅後も痛みが引かなかったため、翌日、病院へ行き診察を受けたところ、骨折と診断された。	67	391	1	100 ～ 299
2017	6	10～	作業所梱包場において、アルミコイルが載った鉄馬4台、アルミスクラップが載った鉄馬1台、空の鉄馬1台が1列に連なって並んで置いてあった。被災者は、アルミコイルの内径を測定するため歩きだした。アルミコイルの内径を測定する馬台の前には、アルミスクラップが載った馬台が置かれていた。被災者は、アルミスク	50	521	2	50～

		11	ラップの載った馬台に乗らなければアルミコイルの内径を測定する事が出来なかったため、右足を鉄馬の上に載せ、左足をアルミスクラップの上に載せた時、両足が前に放り出され、鉄馬の上に尻もちをついた。					99
2017	6	17～ 18	倉庫内で大型冷蔵庫1台をパレットに移し変えようとし、冷蔵庫外装のPPバンドを両手で持って手前に引いた際、左肩に痛みを感じ、左肩腱板断裂と診断された。	63	921	19	～	300 499
2017	6	17～ 18	自動車部品の入出庫作業中、使用していたリーチリフトから降りた際（約20cm）、右足首に違和感を感じた。	45	222	19		50～ 99
2017	6	16～ 17	カゴ車に商品を積み込んで搬送する際、カゴ車を前に押し出した時に左足が縫れ、捻って負傷した。	36	363	19	～	100 299
2017	6	16～ 17	駐車場で、大型ダンプを駐車して降りる際に手が滑り、落下して腰部を強打し負傷する。	65	221	1		10～ 29
2017	6	7～8	積み荷の確認のため、荷台の扉を開けようとしたが、扉が固く開けにくい状況であった。そこでレバーを両手で持ち、片足を車体にかけて引っ張ったところ、扉が開き、勢いでレバーから手が離れて後ろ向きに転倒し、地面に腰を打ち付けた。	41	221	2		10～ 29
2017	6	12～ 13	構内のCライン補充庫前で、ダンボール箱を捨て終わって空いたカゴ車をたたみ、補充庫内から前室へ移動しようとした際、カゴ車を内側から押して運んだためにカゴ車のバランスが崩れ、カゴ車が背面側に倒れてしまい、咄嗟に持っていた手を離したが、倒れたカゴ車が左足小指辺りに乗り上げ、左足第五趾骨折となった。	48	362	6	～	100 299
2017	6	17～ 18	仕分けホームにおいて作業中、仮置き荷物を持ち上げた際、動作の反動で腰から背中に痛みがはしり、被災したものである	47	611	19		50～ 99
			被災者が商品を保冷カゴ車に積み込む作業を行っていた際、カゴ車を所定の位置に置く為に移動してきた作業者のカゴ車が、被災者と					100

2017	6	21~ 22	接触し、被災した。尚、当時事故の報告が作業責任者になく、災害の事実を確認した者もない。被災者も既に退職しており、加害者も特定できなかったので推測にて記載したものである。	43	362	6	~ 299
2017	6	17~ 18	ペットボトル飲料が満載の6輪カートを移動しようとした際、後方が気になり振り返った。その際、カートの勢いがよくて止めきれず、足を前輪で挟んだ事故である。	28	362	6	50~ 99
2017	6	9~ 10	ISOコンテナに接続しているフレキホースの取り外し作業を開始した。作業員Bは充填口のフレキホースカップラーBを外し（この時は噴出無し）、フレキホースにキャップを取り付けていたところ、突然、充填口からガスがミスト状に噴出した。その際、ISOコンテナ充填口付近にいた作業員Aは、噴出したミストがかかった。	49	514	12	—
2017	6	17~ 18	出荷室へ完成済みのカゴ車を指定場所へ運搬後、セット室へ戻ろうと小走りになり、足を滑らせ転倒した。	63	417	2	50~ 99
2017	7	0~1	出荷口の16番オーバースライダー（シャッター）の点検を6段脚立の5段目に脚をかけ、建物内部で点検作業をしていたところ、被災労働者が点検中とは知らず、当社社員が外側から開けたため、急にシャッターが開いた反動で脚立から落ち受傷した。	59	371	1	100 ~ 299
2017	7	22~23	倉庫内でバットを取りに派遣先の方と一緒に歩いて移動中、その方が出口のシャッターを持ち上げて開けたところ、そのはずみでシャッターが戻り被災者の頭に当たり気を失い救急車で搬送された。脳神経外科では脳への異常は見られなかったが、翌日になっても首と左手に痺れが治らなかったため他の病院で中心性脊髄損傷と言われる。被災者は、勤務中、帽子をかぶっていたがこの様な災害が発生してしまった。	57	391	6	100 ~ 299
2017	7	11~12	車両をトラックスケールに乗せ計量終了した際に、サイドブレーキを引き忘れた状態でステップに乗り、連結作業を行い台車側のブレーキが解除され、車両が前方に動いたため慌てて飛び乗り、手で	54	221	3	30~ 49

			フットブレーキを押しサイドブレーキをかけ停車させた。この際右足踵を骨折した。				
2017	7	11~12	店舗内客席テーブルにおいてお好み焼きを焼いている際に、テーブルが動いた拍子に体勢を崩し、とっさに右手を鉄板の上についてしまい受傷したものである。	63	362	5	100 ~ 299
2017	7	16~17	当社駐車場にてトラックから降りようとしたとき、足を滑らせてしまい、トラックのアオリに左脇腹を打ってしまった。	35	221	1	1~9
2017	7	12~13	ベルトコンベアから流れてくるミニトマトの受け取り作業をしていたところ、右手中指がベルトコンベア部とローラー部の隙間（1cm程の隙間）に入ってしまった、右手甲の部分まで挟まれてしまった。	51	224	7	100 ~ 299
2017	7	11~12	倉庫内にて、フォークリフト作業中、なんらかのはずみでフォークリフトのレバーにトランシーバーが挟まってしまい、ギアがバックの状態に固定されてしまい、あわててペダルを放したときにフォークリフトが止まらず、そのままパレットの間に左足が挟まり、負傷してしまった。	37	222	7	1~9
2017	7	16~17	アルミ製品が入った長さ1m×幅15cm、重さ15kgのダンボールを運ぶ途中、アルミ製品が左に傾きバランスを崩して、無理に立て直そうとした際、左手親指を負傷したものの。	45	362	19	100 ~ 299
2017	7	20~21	商品（冷蔵食品）を棚補充するために、カゴ車に積載された商品が入ったコンテナをおろす際、胸より高い位置の2段を1度に取り、腰に痛みが走ったが、歩く事もできたため自力で帰宅した。	29	362	19	300 ~ 499
2017	7	7~8	店舗配送を終了し、業務用EVホールから外に出る際、雨が降っていたので傘を取りに向かおうとしたところ、螺旋階段の下を通った際に頭をぶつけた。	47	413	3	100 ~ 299
2017	7	8~9	上屋内にて貨物をパレットへ積み付ける作業を行っていた際、隣接して蔵置されていたパレットドーリーのトバーが、積み付け作業の妨げになっていたため、トバーを上げてロックを掛けたところ	28	229	6	100 ~

			ろ、ロックの掛かりが甘かったことにより、トーバーが倒れ込み右アキレス腱付近に接触し、挫傷した。				299
2017	7	23~24	納品先で空のコンテナを回収中、パワーゲートが上がり切る前に荷台へ入ろうとして足を踏み外し荷台床へ転落した。その際に左足首を捻挫した。	34	221	2	10~ 29
2017	7	12~13	倉庫内の職場において、高層棚の上段にある商品をピッキングするために使用する作業車をピック作業ができる位置に移動する際、高層棚の柱と作業車を掴んでいるバーの間に右手を挟み負傷した。作業車の取り扱いは今回が初めてであり、作業車の移動に関して、手袋を着用するなどの指導をしていなかった。	48	362	7	500 ~ 999
2017	7	11~12	構内2階で作業中、リフコンの調子が悪く、操作パネルで復旧作業をしている際、リフコンの搬入出口前の安全ガード前に左足を出しており、フォークリフトに挟まれた。	34	222	6	30~ 49
2017	7	16~17	2病棟2階喫煙所にて休憩中に、目まいがすると下を向いた所、そのまま地面に肩より倒れこみ心肺停止し、救急搬送した。	39	911	90	1000 ~ 9999
2017	7	15~16	格納ラック間の通路内にて、パレット商品から商品を取るため、次の箱に差し掛かったところ、商品を取った右手が滑り、左手首に当たった。	43	611	3	50~ 99
2017	7	8~9	冷凍庫内での商品搬送中、商品を載せたカゴ台車を別の部屋に移動させる作業を後ろ向きに行ったため、入口扉の開いているスペースが足りない事に気がつかず、扉と台車の間に右手を挟まれた。捻挫と診断される。	33	362	3	10~ 29
2017	7	8~9	プラッター（バッテリー式リーチフォーク）のバッテリー液を補充するため精製水の箱が入っているラックとバッテリーテーブル（プラッター本体からバッテリーを引き出して載せる台）をプラッターで準備していた。プラッターを停止させ運転台（高さ36cm）から後ろ向きで降りる時急いでいたため床面に右足を勢いよく着いたと	42	222	19	50~ 99

			ころアキレス腱を切ってしまった。				
2017	7	15~16	体感訓練場（リフト乗車のための訓練場）をペイントするため、備品庫へ向かった。備品庫の手前通路に傾斜がありそこに足を取られ、転倒し足をひねり受傷。	42	417	2	100 ~ 299
2017	7	10~11	工場東側屋外でリーチリフトにて出荷作業中、出荷ドラムの保管場所へバックで移動し停止しようとしたところ、右後輪が路面のコンクリートの割れているところにはまり、左後輪（駆動輪）が空転し操作不能となり、とっさに後方のコンクリート壁に左足を出して止めようとしたが、間に合わず、リフト後方とコンクリート壁に左足を挟んでしまった。	39	222	3	10~ 29
2017	7	13~14	縦走ラック作業場で出荷品を出庫しようとしている時通箱より箱に入ったモーターを1個、右手で指を一杯に広げて取り出した。その際中指付け根に痛みを感じた。	48	521	19	50~ 99
2017	7	11~12	当社倉庫内作業フロアでピッキング作業中にピッキングカートにぶつかり右腕・右ひじがはれた。	46	362	3	300 ~ 499
2017	7	5~6	仕分けホームにおいて引き込みローラーに引き込んだ荷物をストックするために持って運ぶ際ブルーボックスに足を引っ掛けて転倒し、左膝を地面に強打し被災したもの。事業場に出張作業中の被災。	50	611	2	50~ 99
2017	7	15~16	営業所にて、タイヤの組替作業中にバランスを崩し、転がしているタイヤが転倒し脛を強打。その場では、大した痛みや腫れもなかったため、保冷材で冷やし、業務終了まで就労した。負傷日の夜になり、激しい痛みと腫れが出始めた。	32	611	19	100 ~ 299
2017	7	14~15	工場構内のガントリークレーン10t北にて、8mの鉄パイプ200A3本を平行にあだ巻きにて運搬横行中に、ガントリーの南側柱に当たりパイプが跳ね上がり、左手の指3本をパイプに挟み受傷した。	33	521	7	1~9

2017	7	13~14	レーンを横切るとは禁止されていたが、レーン向こう側にあるリストを確認するため、レーンの上に乗った。その際、身体の一部がセンサーに触れたため、レーンが稼働し、左手が連結部に巻き込まれた。	31	224	7	50~ 99
2017	7	12~13	被災者は、蔵替え作業（製品の移し替え）のため、製品をパレットごとにトラックに積み込んでいた。パレット（製品込）1枚の重量が約600kgあるため、手駒を使用し引っ張って積み込み作業を行っていたところ、手駒がパレットから外れ、被災者はその反動で転倒した。その際、右肘と右肩をトラック荷台（箱型荷台（バン）の枠の壁に強打）に強打し負傷した。	53	364	2	100 ~ 299
2017	7	11~12	冷凍魚の荷上げ終了後、船内に入れたベルトコンベアー（長さ4m・重さ100kg）を出す作業中に誤って地面とコンベアーの間に左手人差し指を挟めてしまい、負傷した。今後の対策として、重いものを持つ作業には最低でも二人で作業し、またその際には声をかけ合い作業する様に指導した。	30	224	7	10~ 29
2017	7	13~14	お客様駐車場にてトラックを駐車し、荷台へ移動し、荷台ステップ上へ両足をのせお届物を両手で引きながら荷台ステップより片足を下ろした際、足元の側溝に隙間（幅約20cm、深さ約30cm）があり、その溝に片足を落とし、後ろ向きのままバランスを崩して転倒し、後頭部を地面に打ちつけた。	49	418	2	30~ 49
2017	7	16~17	洗浄機からコンベアに乗って出てきたプラスチック製パレットの底部をチェックする際、誤ってコンベアに右手を添えてしまったため、コンベアを動かすチェーン部に右手を巻き込まれてしまい、右手第1指第1関節付近を負傷した。	60	224	8	1~9
2017	7	9~10	休憩室に向かうため、旧出荷パース側プッシュ式電動ドアから出て行こうとしたが、ドアが開いていたためそのまま通り抜けようとしたところ、扉が閉まってきてしまい、左腕を挟まれ肉離れを起こした。	69	391	7	100 ~ 299

2017	7	20～ 21	被災者が、到着した貨物専用機の貨物室に立入るため、貨物室ドア口に接機されていたメインデッキローダーの昇降用梯子を昇っている際、地上から2m程の辺りで梯子支柱をつかもうとしたとき、右手を滑らせ地上に落下し、左肩並びに左肘を地面にぶつけ負傷した。	30	371	1	300 ～ 499
2017	7	5～6	被災者は、作業長以下5名とTBMを実施したあと、他作業者と別れ、自動梱包ラインで個人KYを実施後に作業を開始した（当該作業は一人作業である）。ラベル貼付けデッキでの作業を終え、搬送台車の自動運転を開始したあと、被災者は何らかの理由によりライン内に立入り、搬送台車に近づいた。その際、コイル置台からコイル載せ位置へ移動し始めた搬送台車の車輪に右足を挟まれた。（カッターナイフを落としたという被災者の証言があり、カッターナイフの回収に行こうとして搬送台に近付いたものと推測される。）	30	169	7	1000 ～ 9999
2017	7	2～3	カゴ台車を4tトラックに積み込む際、台車をストッパーに固定しようとしたところ、固定状態の確認不足で台車が動き出し、止めようとしたが間に合わず、ストッパーに車輪が引っ掛かり、台車が倒れてきて下敷きになった。	24	362	5	10～ 29
2017	7	15～ 16	納品先で、トラック後方より商品を専用台車へ降ろそうとしたときに転倒した。その際、右手を地面に突いたときに手首を負傷した。原因としては、トラック庫内の商品が高く積まれていて降ろしづらかった事と、専用台車が動いてしまいステップから降りた時に右足が専用台車の上に乗っかりバランスを崩してしまった事が考えられる。	44	221	1	100 ～ 299
2017	7	6～7	仕分け作業時、荷物が積み込まれたカーゴテナーを2台並べ、荷物を降ろしていた。その際、右側のカーゴテナーを位置調整で動かした際、車輪が右足の甲部分にのり上げた。（安全靴未着用）	40	611	7	50～ 99
			センター2階作業場で袋掛け機のフィルム交換作業時、フィルム				300

2017	7	10～ 11	ロール（約15kg）が落下し、フィルムロールとフットペダルの上に 右手人差し指が挟まり骨折した。	45	391	4	～ 499
2017	7	8～9	構内にて、引越し荷物を4t車から2t車へ積み替え作業中、Lサイズ のダンボールを持って4t車荷台から2t車荷台へ移動した際、雨で2t 車のテールゲートが濡れていたため左足が滑り、バランスを崩して 右足が4t車と2t車の隙間に落ちて、右足脛と股間を負傷した。	66	221	1	1～9
2017	7	9～ 10	1階包装場にて、エアコン噴出口に霜避けのために付けていた段 ボールを取り除くため、脚立にのぼり作業中、ストッパーが不完全 なため脚立が広がってしまい、転倒して骨折した。	40	371	1	500 ～ 999
2017	7	8～9	倉庫内で4輪カゴ車を運搬中、右足の小指を轆き、安全靴を履いて いたが骨折した。カゴ車の重量は、積み荷と合わせて約100kgで あった。	47	362	3	30～ 49
2017	7	9～ 10	1階入荷エリア7番レーンで、商品の検品作業中、レーン上のダン ボールを引こうとしたときに、前方よりダンボールを押されたた め、右手首を捻挫した。	21	611	6	500 ～ 999
2017	7	11～ 12	工場内廃棄物置場で、ゴミを廃棄物コンテナに入れる作業を行う際 に、廃棄物を載せたパレットをフォークリフトにセットして上昇さ せ、コンテナの上部に引っ掛けて、そのパレットの上に被災者が乗 り、廃棄作業をしていた。その際、フォークリフトが突然後退 し、フォークリフトの爪がパレットから抜け、被災者はパレットと 共に滑り落ち、その落ちた衝撃により腰部を痛めた。	62	222	1	30～ 49
2017	7	15～ 16	プラスチックの塊が入ったフレコンバックを、フォークリフトで高 さ約1m吊り、フレコンバック内にある塊を取り出すため、フレコ ンバック底部をカッターナイフで切断したとき、塊（6kg）が地面 に落ち跳ねて、約5m離れていた作業員に当たり、右脛骨近位部開 放骨折を負った。	64	529	4	1～9
			敷地内倉庫前のスペースで、紅茶が入った紙袋（50～60kg）の積				

2017	7	11～ 12	み降ろし作業中、上段の荷物を持ったときにバランスを崩してしまい、腰に激痛がはしり倒れ込んでしまった。原因は、バランスを崩した荷物の落下をかばったために起きたものと思われる。	51	611	19	10～ 29
2017	7	16～ 17	チルド庫ピック・トゥ・パレット出庫口から出てきた空パレット1枚を、手で引き立てようと持ち上げたとき、手を滑らせパレットが落下し、足先が挟まれてしまった。	39	379	4	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	取引先に集荷に向かうため、駅構内にてトラックに空コンテナを積み込み、コンテナ内部を清掃後、コンテナから降りるときに誤って足を滑らせ、顔面から落下し、左膝・額・顎を負傷した。その際、前歯1本が折れて下唇に刺さり、裂傷を負った。	44	221	1	100 ～ 299
2017	7	10～ 11	配達先の家の前で、トラックの荷台から降りる際、ステップに足を掛けたときに足を滑らせ、足首を捻った。目立った外傷も無かったため、午前中の配送を続けたが、午後右足が大きく腫れて痛みが強くなってきた。	25	221	2	30～ 49
2017	7	18～ 19	倉庫内において、発送貨物の仕分、ロールBOXへの積み込み作業中に、車両へ搭載するためにロールBOXを移動していた際、ロールBOXの左側を押したときに力を入れ過ぎ、ロールBOXが遠心力により左側に移動した。ロールBOXを止めようと前方に回り込んだとき、ロールBOXのキャスター部と左足首が接触した。	22	362	3	50～ 99
2017	7	16～ 17	梱包作業で使用する資材を取りに行く際、扇風機を作動するために使用していた延長コードに足が引っ掛かり転倒した。その際に、顔面打撲、膝部分靭帯損傷による骨折を負った。膝部分はギブス治療で、当面は松葉杖で通院が必要となった。	58	417	2	30～ 49
2017	7	4～5	高速道路上で、運転するトラックが故障したため発煙筒を点けようと車外へ出たところ、当該故障車が、後から走行してきた3tトラックに追突され、押された当該故障車と接触して負傷した。	31	221	17	30～ 49
		15～	被災者が庫内にて整理を行っていたとき、三段目に商品を置き、リフトの爪を降下しながらバック走行で庫内から外へ出ようと扉に近				100

2017	7	16	づいたところ、爪を降ろしきれずマストの上部と庫内入口上部が接触し、運転席から投げ出され転倒し負傷した。	54	222	1	～ 299
2017	7	16～ 17	資材置場にて、場内土砂整備に使用した重機をユニック車に積込み、荷台から降りる際にバランスを崩し、地上約1.5mの高さから飛び降りて着地した時、左足踵を強打し受傷した。	56	221	3	30～ 49
2017	7	11～ 12	会社常温倉庫内の荷受けエリアにて、他の従業員が電動ジャッキにてパレットに積載された商品を移動させるのを待機していた際、動いている商品のパレットが、隣にあった空のパレットに接触し回転した。その際に、左の靴および左足首外側に当たり、左側に転倒した。転倒による怪我は無かったが、パレットが接触した左足首外側に直径3cm程の擦傷を負った。	25	229	6	50～ 99
2017	7	22～ 23	退勤後に駐輪場へ向かう際、足元の不注意により、ホームから足を踏み外し、ホーム下へ落下し負傷した。	37	419	1	50～ 99
2017	7	13～ 14	棚の3段目（高さ約1.6m）から部品を取り出し、その場で右回りに体を反転させたとき、右足首を捻り、その場にしゃがみ込んだ。	34	921	19	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	ホームの上で荷積み中に、ホームから転落し、地面に置いてあったパレットに接触し、脇腹・背中・腰を負傷した。	44	418	1	30～ 49
2017	7	14～ 15	冷蔵庫3階B棟荷捌場にて、当事者が1階より引取便接車の無線連絡を受け、予め出庫準備済の貨物から、対象の出庫（12kg）を別のパレットに移そうとしたとき、誤って手を滑らせた。貨物が落下しそうなため、慌てて貨物の下に手を回し持ち直そうとしたところ、右手人差し指を挟み負傷した。	31	611	7	10～ 29
2017	7	11～ 12	ストラドルキャリアのエンジンがオーバーヒートしたため、エア抜きをしてラジエーターのキャップを開け、水の入れ替えを行った。その後、再度オーバーヒートしそうだったので、前手順と同様に、ラジエーターの水を入れ替えようとエア抜きをしてキャップを開け	49	226	11	50～ 99

			たところ、水が噴き出し、上半身にかかり火傷を負った。				
2017	7	13～ 14	農場にて、大型トラックで鶏の積み込みが終わって、荷台から下に下りる際、1m上から飛び下りたとき、カゴを固定するたて棒のフックを右足の裏で踏んでしまい、誤って刺さり怪我をした。通常、荷台から下に下りる際は、梯子またはタイヤを使って下りるのだが、今回は、荷台から後ろ向きに確認せずに飛び、たまたまあったたて棒で足を刺したものである。	31	221	9	30～ 49
2017	9	10～ 11	当該人は、営業所の施設敷地内で、トラック荷扱（トラックの荷台（高さ約70cm）に昇降して検査用の米を採取する作業）中に、トラックの荷台から降りる着地時に左足を骨折した。	44	221	3	1～9
2017	9	13～ 14	折りたたみであるカゴ台車2台を運んでいる時に、カゴ台車がバランスを崩し転倒。その際に左足が下敷きになってしまった。	46	362	6	30～ 49
2017	9	8～9	センターのホームでロールボックスパレットを移動中、別の作業をしていた作業員に気付かず、腰の部分にロールボックスパレットを当ててしまう。	26	362	6	30～ 49
2017	9	16～ 17	倉庫内にてピッキング作業中、パレットの段差で右足を捻り捻挫した。	36	379	19	100 ～ 299
2017	9	8～9	洗浄室にて、番重洗浄の準備を行った後、洗浄を開始、未洗浄番重を洗浄しようと番重20段を引っ張ろうと左足に力を入れた際「プチ」と音がして、左大腿裏側の膝上あたりの筋を痛め、肉離れを負ったものである。	60	921	19	1～9
2017	9	5～6	投入作業終了後、送ベルトの位置調整を、機械を停止せずに実施したため、ベルトとローラーの間に指を挟み負傷した。	58	224	7	100 ～ 299
2017	9	18～ 19	庫内を歩いて移動中に、側面に設置してあった脚立に足を引っかけて転倒。右肩を負傷したものである。	51	371	2	500 ～

								999
2017	9	20～ 21	POS35LをLOLからコンテナドーリーの移送後、ドーリーを回転させた。その際ドーリーのフチ部分とコンテナの隙間に手指が入り込む状態であった為、コンテナベース部分が遠心力でフチ部分にズレた時に、右手人差し指が挟まり負傷した。	20	362	7		500 ～ 999
2017	9	21～ 22	横持ち車両への承認積み込み作業に於いて、コンテナ内で罹災者が管理帳票を探していた際、当該車両のドライバーは罹災者がコンテナ内にいる事を気付かずコンテナの扉を閉める為に、出荷バースから車両を前進した。急に車両が動いた事から、罹災者は慌ててバースに飛び移ったが、足を滑らせ背中よりバース下に落下し、腰・背中・頭を強打。事象発生後、センターにて救急車両を手配し、近隣の病院へ搬送。病院にて背中と腰に骨折とヒビが確認された為、即入院となる。	44	221	1		100 ～ 299
2017	9	17～ 18	5F梱包ラインにて、梱包作業に従事しており、その後梱包レーン沿いに移動した際、転倒した。	62	417	2		500 ～ 999
2017	9	7～8	商品積込時、順次前より積み込みをしていて、荷台の後ろの積み込みをしている時、誤って足を滑らせ、体の左側より転落し、左肘の骨折と手首を打撲する。	56	221	1		10～ 29
2017	9	10～ 11	いつもの通り2～4K破棄商材を1mほどの高さのトラック荷台に積み込む作業を10～20分続けたところ、肩が若干痛み出したが、途中でとめるわけにはいかず更に続けた所、前より一層痛みを感じたので仕事を中断し、そのまま病院に行き、右肩挫傷と診断を受けたものである。	26	611	19		500 ～ 999
2017	9	9～ 10	センター内に於いて、出荷作業中、棚の3段目（高さ170cm）から製品を取ろうと2段目（高さ85cm）に足を掛けたところ踏み外して、足元にあった台車の取っ手にまたがるように落下し、股間を強打し負傷したもの。	31	416	1		30～ 49

2017	9	9~ 10	作業場で、月曜以降の配達荷物を、カゴに入れてホーム下に格納する為、カゴ車をホーム際まで移動させたところ、止まれずにホーム下に転倒した。	41	362	1	30~ 49
2017	9	4~5	被災者が降ろし場にて仕分け業務中、ベルトコンベアーからはみ出で運ばれてきた荷物が、被災者の腰部に強く衝突しその衝撃で前方へ転倒。それにより腰部を痛めた模様。	41	611	6	50~ 99
2017	9	15~ 16	被災者が中間点呼を終え、事務所から持ち場である降ろし場に戻ろうとコンベアを飛び越えた際、着地時に足を捻ってしまい右足首を骨折したものである。	23	921	3	100 ~ 299
2017	9	0~1	持病の療養のため1ヶ月程休んでおり、職場復帰初日、勤務時間の間で午前中は主に空ダンボールを潰して片付ける業務を行い、午後は粗小物が入った箱の60cm程持ち上げ小物仕分機の方に引き込む業務に従事。箱の重さは大腿10~15kg程、重いものでも30kg未満、重い場合は女性スタッフと2人で作業を行っていた。作業中、特に発症するきっかけとなるような出来事は無かったが、翌日腰痛を発症、痛みで動きが取れず自宅で療養し、その後腰椎椎間板ヘルニアと診断を受けたものである。	58	611	19	100 ~ 299
2017	9	23~ 24	エリアにて、CMPに積まれた奥側の貨物を取ろうと、CMPの奥側の貨物を平らにならす際に、不安定な体制だったため、手前の貨物の角が、右胸に体重が掛かった状態で接触し、激痛がはしった。	52	611	3	100 ~ 299
2017	9	11~ 12	休憩後に作業場へ戻る途中、曲がり角にあったカーゴに気付かず、カーゴ上部角に眉間を打ちつけ負傷したものである。	27	362	3	30~ 49
2017	9	4~5	営業所で、平台車にて野菜の仕分け作業中、押している平台車の下に左足が入り、バランスを崩し転倒、手をついた際に左手の薬指をひねり骨折した。	49	362	2	100 ~ 299
2017	9	2~3	到着業務での逆走中、引き漏れの荷物を対岸の引き込みローラーに押し込もうとした際に、ステップ上でバランスを崩し右足を外側に	46	416	19	30~

			若干捻った状態で着いてしまい、小指付近に体重がかかり、小指の付け根付近を痛めたものである。					49
2017	9	19～ 20	チルド庫内にて、店別仕分けの作業中、飲料ケース（1?×12本）2ケースが倒れそうになり、支えきれずに転倒、腰・足を痛めた。	30	611		2	50～ 99
2017	9	7～8	チルド庫内にて店別仕分け中、飲料ケース（1?×12本）2ケースが倒れそうになり、支えきれずに転倒し、腰と足を痛めた。	30	611		2	30～ 49
2017	9	13～ 14	積込先営業所において、トラックの荷台にあがり、フォークリフトで荷台まで差し出された丸巻きの反物を積み込んでいた。1本20～30kgの重量があり、150本もの数量があったので、荷物を持って移動した際、腰に負担がかかり負傷した。	51	611		19	10～ 29
2017	9	8～9	本契約の試用期間（7000円/日）中、ドライバーの使用について見習い（ルート確認等）、荷主先でトラック荷台から飛び降りて踵を強打し、骨折した。	50	417		3	1～9
2017	9	11～ 12	顧客納品先において、被災者はトラックのパワーゲート上でハンドリフトを操作中にバランスを崩し、地面へ飛び降りた。その際に右手を地面に付いた為、負傷したと本人から申告を受けたもの。現地での事象を目撃したものはいないが、本人より申告があり申請するものである。	45	417		3	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	事業所で、受傷者Aは異常品検品作業後、入荷品仕分け場（リフト作業エリア）に移動した。リフト乗務員は受傷者がリフト作業エリアに移動したことに気付かずに作業を続けた。荷物整理の為、リフトをバック走行させたところ、リフト後方から「うっ」という声が聞こえた為振り返ると受傷者が後方に倒れていることを確認した。事故状況を、受傷者・リフト乗務員双方に確認したところ、双方ともに受傷者にリフトが接触したか記憶がない、わからないとのことである。	57	222		7	1～9
		17～	2F倉庫トラックバース付近において、パレットに積み込まれている商品にバーコードシールを貼る作業を実施していた。シールを貼りな					100

2017	9	18	がら左方向に動いた際に、トラックバースの段差に気づかず、左足を踏み外し、トラックバース下に転落し、左肘を強打した。	51	418	1	～ 299
2017	9	10～ 11	センター内にて、トラックの荷台にリサイクル家電（冷蔵庫）を積み込む際、荷台がプラットホームより10cm低くなっており、冷蔵庫を斜めにして積み込んだところ、先に積み込んだ冷蔵庫と、積み込もうとした冷蔵庫の間に右手親指を挟み負傷した。	48	911	7	30～ 49
2017	9	13～ 14	倉庫内でのピッキング作業中に、棚から商品を引き出そうと商品下部に左手を差し込み、右手で持ち上げ手前に引き出した際に、右手首に違和感を覚えたがその後も終了時刻まで作業を継続。翌日になっても右手首の痛みが治まらず、受診したところ捻挫と診断を受ける。	50	611	19	～ 299
2017	9	1～2	商品が積まれたパレットをハンドリフトで移動させる際、ハンドリフトがスロープの継ぎ目に引っ掛かり商品が荷崩れを起こした為、右手で抑えようとしたところ、荷崩れした商品が右手小指に当たり被災したもの。	36	362	4	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	1Fフロアにおいてフォークリフトにて荷捌きを行っている際、バック走行をしブレーキペダルを離し停止しようとしたがブレーキが利かずガードレール接近し、咄嗟に左足を出してしまいガードポールとフォークリフトの間に左足踵を骨折した。	32	222	7	50～ 99
2017	9	13～ 14	倉庫内で出荷作業中、通路走行時にハンドル操作を誤り、ネステナーと接触しそうになった為、ブレーキペダルを放したが間に合わず通路沿いに設置してあるネステナーに衝突した。その際、反射的に出した左足がフォークリフトとネステナーの間に挟まり左足首を負傷した。	25	222	7	50～ 99
2017	9	11～	ネスラックを使用して商品を保管しているエリアにて、商品のピッキング作業をしている時に、ネスラック上にある商品（オムツ）が奥にあってとれない状態だったため、脚立を使用してネスラックに	63	371	1	100 ～

		12	のぼり、商品をとった後おりようとして、後ろ向き状態で脚立につま先が触れたことを確認し、そのまま足をのせると脚立が倒れ、後ろへ転倒した。（ラック高さ：1m20cm）					299
2017	9	15～ 16	倉庫内において、左手にピッキングリストを持ち商品をピッキング業務中、右足を滑らせ尻もちをつく体勢で転倒した、その際、床に右手をつき負傷した。	48	416		2	10～ 29
2017	10	11～ 12	取引先より荷物搬入のために、商品をカーゴテナーに積み移動していた。移動途中誤ってキャスターに足を挟めてしまい、安全靴に保護されていない部分だったため右足小指の付け根部分を負傷した。	32	362		7	30～ 49
2017	10	8～9	駐車場内にて重番（資材）回収作業を行っていた。トラック庫内に番重を積み込み、再度番重を取りに行く際に、後ろ向きでステップに足を乗せた時滑り、バランスを崩し落下した。当日は雨天によりステップも濡れていた。落下時、右腰付近を強打した。	43	221		1	50～ 99
2017	10	10～ 11	ピッキング作業中にしゃがんで商品を取っていた際に、後方の別の作業員がピッキングカートを進ませてしまい、死角にいた被災作業員に追突する。	31	362		6	300 ～ 499
2017	10	19～ 20	倉庫内作業でコンベアに商品入りの段ボール箱（10kg前後の重さ）を補充する際に、手前のローラー本数が足りなくなった為に、コンベア部分に直接運ぶように指示があった。コンベアはローラーより高さが低い為、覆い被さるように中腰状態（先のコンベアに商品を放り込むような感じ）でほぼ1日作業をしていたところ、作業終了時より激しい腰痛にみまわれた。通常1-2名でやる作業であり、最初の2時間は1人で行っていた。2人でやることが多い作業である。	49	611		19	50～ 99
2017	10	17～	工場、スティックを充填機ラインから梱包ラインに排出するときに、排斥シャッターが開き切っていなかったため、10包のうち1包が梱包ラインに挟まってしまい、詰まっているスティックを排除す	54	169		7	100 ～

		18	るため右手を入れたところ、排斥シャッターが閉まり右手を挟み被災したもの。					299
2017	10	20～ 21	配送途中、休憩を取るためパーキングエリアに立ち寄った。PA到着後、車輛から降りる際、ピラーグリップにつかまりながら右足を先に地面に降ろした。その時、地面がデコボコになっていて右足首を内側に捻る形で着地してしまった。右足首骨折と診断された。	42	221		19	30～ 49
2017	10	12～ 13	倉庫内にてピッキング作業中、オリコンで左手小指を突き指し、骨折した。	62	379		3	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	自作1階倉庫内において、商品補充の作業中に床に置いてあった、平台車に取りつけてあったビニール紐を踏んだ事により転倒し、右頬、右手、右膝を床に打ちつけ、右膝骨挫傷の怪我をってしまった。	35	362		2	1000 ～ 9999
2017	10	11～ 12	事業所オリコン置き場にて複数の作業員でオリコンを作る際（キャリアの上にオリコンを乗せる作業）に、足元近くに置かれていたキャリアに気付かずキャリアの上に乗ってしまい転倒。手と膝を打ってしまった。	59	362		2	300 ～ 499
2017	10	22～ 23	被災者がトラックで荷室（助手席側脇扉）約100cmより足を滑らせ落下。着地時に足首を捻り捻挫し、腫れが出ている。	47	221		1	100 ～ 299
2017	10	11～ 12	空港制限区域内塵介処理場にて、ゴミ回集車からゴミを廃棄するため荷台の扉を開けた後、荷台のダンプ操作を実施した。しかし、ゴミが落ちてゆく様子がなく、荷台の途中で引っ掛かっていた為、荷台の左側後方から棒でゴミを掻き出していたところ、左側荷台扉が閉まり、左肩・腰に当たった。	45	221		6	1000 ～ 9999
			お菓子の入ったオリコン（3kg）を台車から持ち上げ、ローラーに					

2017	10	11～ 12	載せた際に腰に違和感があった。当日は違和感があったが就労就業時間まで作業を継続し帰宅、夜中に痛みが強くなり、翌日は動けず家で過ごし、後日病院を受診し、ぎっくり腰と診断された。	54	611	19	50～ 99
2017	10	22～ 23	荷下ろし場で荷物の流し込みの作業をおこなっている最中、荷台に仮置きされたコンパネが荷物と一緒に押し出され被災者の腰部分にあたり被災したものの。	40	522	6	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	移転の為、キャビネットをトラックに積み込む際キャビネットとトラックの跳ね上げに右手中指を挟まれた。	34	391	7	30～ 49
2017	10	10～ 11	被災者は派遣先においてワインのピッキング作業に従事していた。昼食後に喫煙室に向かおうと長椅子から立ち上がって歩き始めた際に、長椅子の脚（座席部分から15cm程脚が飛び出ている形状）に左足を引っ掛けて転倒し、負傷した。なお、長椅子は背中側に壁正面にテーブルが置かれた場所に配置されており甲は身動きしづらい状態だった。	51	391	2	1～9
2017	10	3～4	5番シュート付近で粗小物仕分けをしている際、粗小物が入ったダンボール箱を引きずりながら積み込みするトラックへ移動した際、右足をホームから踏み外し、地面へ転落し右腕を強打したものの。	31	611	1	300 ～ 499
2017	10	12～ 13	入り口まで4段の階段があるマンションへの配達を行う際、荷物を持って3段目の階段を上っていたところ足を滑らせ、4段目に左足を着いた際に捻り4段目で尻もちをついたものの。	64	413	1	500 ～ 999
2017	10	16～ 17	軽量ラックが並んでいる作業現場にて、ボルトのピッキング仕分け作業を行っていた。高さ100cmの棚からボルト80本（2～3kg／本）をカートが一番下に移動させた時に腰に痛みが走る。当日以降、痛み止め薬・湿布等して様子を見ていたが、痛みが治まらなかった。以上は、本人から派遣会社へ報告を行った内容となっており、後日派遣会社から初めて受けて知ることとなる。本人より話を聞いたことはなく、現在も本人から話を聞くことは出来ていない。よって、痛みがあった事実も把握していなかった。念の為、	62	611	19	50～ 99

			共に行っている現場作業者に確認を行ったが、腰が痛いなど聞いたことが無いと言っていた。				
2017	10	13～ 14	チルド庫内、空ケース荷捌き場で、店舗から戻ってきたシッパー台車から空ケースを降ろす時に、降ろしたケースが床で滑ってしまい一緒に倒れ、膝・腕を床に打ちつけてしまった。	45	362	2	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	倉庫内にてピッキング中に足を滑らせ後方に転倒。商品を持っていた為、右手のみ床につき右手首を骨折。	50	416	2	1～9
2017	10	3～4	荷物積載用のカゴ台車（空）42台をトラックにて構内に持ち込み、荷台より所定の位置への荷卸しを行っていた。カゴ台車4台（約120kg）をまとめた状態で移動中に方向転換をした際、カゴ台車のキャスター同士が接触し、ロックした状態となり作業側へ倒れた。安全靴を着用していたが、つま先の鉄板部分外に当たり受傷に至る。右中足骨底、右中足骨体骨折。	25	362	5	30～ 49
2017	10	8～9	倉庫内で朝礼を行う場所へ集まる途中に床にあったエアホースに足を引っ掛け左手を床についた。その後2時間程作業を続けたが左肘に痛みがあった。病院では過去に左肘に骨折の跡があり、その箇所を痛め、左肘関節捻挫を負ったと診断された。被災者は派遣元へ報告し、その後派遣元より派遣先である当社への報告により発覚した。この災害に現論者はおらず被災者の証言によるものであり事実か否かの確証は無く状況原因は派遣元からの報告に基づき記載した。	46	379	19	10～ 29
2017	10	12～ 13	冷蔵庫を3人で搬入。フェンス（80cm）を越える際に冷蔵庫を持ち上げた時、冷蔵庫のバランスが崩れ、右手親指に負担がかかる。（冷蔵庫SJ-GT48C-R、幅68.5cm、高さ174.5cm、奥行き69.9cm、重量104kg）	39	391	19	1～9
2017	10	11～ 12	倉庫にて、4トン車（平ボテ）に積み込み終了後、シート掛けをしようとして荷台のアオリに足をかけシート受けに常備しているシートを取ろうとした際にバランスを崩し、右足から地上に落下した。	64	221	1	10～ 29

2017	10	18～ 19	道路を横断し歩道に昇る際に左足を捻り負傷したもの。	42	417	19	100 ～ 299
2017	10	20～ 21	トラックより荷下ろしをしたパレット貨物を一旦横並びに2枚仮置きをした。仮置きをしたパレットの移動をフォークリフトで行うため、向かって右側のパレットにエントリーした後に一旦後方に1メートル程移動した。その後、左隣の貨物に接触しないように右へ旋回しながら前進走行した際に、横から徒歩で出てきた被災者の右足首部分が、フォークリフト左後輪と接触し負傷したものである。	60	222	3	1～9
2017	10	7～8	仕事用の制服に着替えて更衣室から出て仕事に就く前に、手を洗いに行こうと思い階段を下りた時に左足を捻って洗面所の前に転び受傷した。	23	413	2	10～ 29
2017	10	6～7	配送先の店舗にて、トラックの荷台からカゴ車を降ろす際、カゴ車のストッパーに靴ひもが引っ掛かり、靴が脱げた足をカゴ車で轢いて負傷した。	46	362	7	100 ～ 299
2017	10	5～6	ホームに接車しているトラックにローラーを設置しようとしたところ、手袋が挟まり無理やり引き抜こうとした際、ローラーがバウンドして手が挟まり被災したもの。	29	391	7	30～ 49
2017	10	20～ 21	事務所側に近いローラー付近で荷引き作業中、ローラーの縁に右膝をぶつけて被災したもの。当日、本人から報告なく定時まで勤務した。被災者は翌日から欠勤し、弊社登録センターに勤務中に負傷したとの連絡があり詳細の聞き取りができたのが最近である。聞き取り後、事業場内で現認したものがないか確認したが、現認者は無し。	42	418	3	50～ 99
			2階エリアには、ラインコンベヤが行き渡っている関係で、数か所に階段付きの架台を設置し、エリア移動できるようにしている。				500

2017	10	23～ 24	地面へ下りるために、階段があることは認識していたが、行きたい場所へ行くのにどのルートを通っていこうか、目線を遠くの方へ向けたまま立ち往生していた。その事に気をとられ足元にある段差から転倒してしまった。	57	413	1	～ 999
2017	10	18～ 19	倉庫内でフォークリフトにて、入荷収納時、入荷シールを見て、ロケーションに行く時に、たまたまそのロケーションの前にフォークリフトが止まっていて、その横をフォークリフトで通り、そのロケーションの商品を収納し、次のロケへ行く時に、バックし、転回をしていたら、左足がフォークリフトから出ていたため、重量ラックとフォークリフトに足が挟まり骨折した。	47	222	7	10～ 29
2017	10	10～ 11	倉庫構内で格納作業中、段ボールをカッターで開封している時に誤ってカッターで左手小指を損傷した。（恐らく手前から外へする動作を、逆に内へ向かって動作した事による）傷が深かったため、止血処置後病院で治療。	33	364	8	100 ～ 299
2017	10	14～ 15	社内移動の積み込みの際、短爪リフトマンが運転席側の1パレット目の製品を車両上に積載時、当社乗務員がリフトの横で養生材を差し入れていた。乗務員が養生材から手を離す前に、リフトマンがフォークリフトを右にスライドさせ、バックレストが乗務員の左手甲に当たり車両と挟まった。	27	222	7	50～ 99
2017	10	8～9	低床式倉庫前でトラック積載物の荷卸作業をパワーゲート上（高さ1m）のパレットに手積みしていた時、パワーゲートの端に足を着き、滑ってドライバーが落下した。左側から落ち地面に着地したため、左上腕部を骨折した。	35	221	1	30～ 49
2017	11	6～7	当該人は、構内の自家用車駐車場に車を駐車し、トラック駐車場へ向かう際に、構内で足を滑らせ、肩から地面に落ちて強打した。後日病院を受診したところ、脱臼の疑いがあるとのことだったが、別の医療機関を勧められ、紹介状をもらい翌日その病院を受診したところ、右肩鎖関節脱臼と診断された。	59	719	2	100 ～ 299

2017	11	9～ 10	倉庫内で荷物の整理中に長物を壁に立て掛けて作業していたら、先に立て掛けた物が右手親指に倒れて来て負傷した。	32	521	5	10～ 29
2017	11	15～ 16	構内で列車入換作業中、ポイントを転換し、引上線から留置線への進路構成を指差確認により確認を行った。その後、誘導を行うため機関車へ向かっていたところ、線路脇の信号鉄管に右足が引っ掛かり転倒し右手首を受傷した。	55	418	2	10～ 29
2017	11	23～ 24	Dコース正面出入り口付近において、騎乗調教中、該馬が突然暴れ前方にいた別の馬（蹴り癖があった）に近付いた際に、蹴られ、右足脛（脛骨、腓骨）を負傷した。	62	417	2	50～ 99
2017	11	22～ 23	構内において、トラックに荷物を積み終え事務所とトイレに行き、車両に戻る時に、作業ホームの階段の所で体のバランスを崩し車両と階段の間に（地面とホームの高さ約105cm位）から転落した。	19	379	6	100 ～ 299
2017	11	18～ 19	プラスチック成形工場内で、成形機に取り付けた金型を清掃中、一部が脱落しかかったため、咄嗟に手を添えて支えようとプレートの窪みに指をかけたところ、鋭利な面に当たり切り傷を負った。	28	224	2	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	店舗内にて洗車作業をしている時、ルーフを洗って脚立から降りる際に側溝の角に着地したため、足首を外側に捻る様に体重がかかり転倒して負傷したものである。	63	222	1	—
2017	11	6～7	お客様宅に3人掛けソファを2名で搬入する時、玄関に入る前の庭が工事中のためシートが敷かれていて、地面が平らでない所で足をとられてソファを落としそうになるところ踏ん張ったため、左膝を痛めてしまった。（左膝のお皿と裏側）数日足をかばいながら作業して様子を見たが治らないのでマッサージに行き、病院に行くように勧められた。	23	417	2	10～ 29
2017	11	23～ 24	出勤後、作業準備に取り掛かりカゴを持って、ドアを開ける時に、カゴからガラスドアをあて開こうとしてぶつかった衝撃でガラスが割れて、左手甲にガラスが当たり切ってしまった。	32	529	8	100 ～ 299

2017	11	15～ 16	物流センター内で、2段積みの棚の2段目（地上約180cm）に登り、2段目に載せているダンボールケースを下ろそうとしていた。ダンボールケースを下ろし終え、降りようとした際、足場にした1段目（約100cm）のパレットの積み荷が軽く棚の中でスライドしたため、バランスを崩して仰向けで落下し、床に背中を強打して肋骨を骨折したものである。	44	419	1	10～ 29
2017	11	11～ 12	納品先前路上にて荷降し中、コンテナ後方部よりコンテナ外側に背を向け、商品が積まれたパレットをコンテナ前方部へ押し込もうとしたところ、コンテナ内の足場が狭い場所で、パレットに対して斜め方向より力を込め押し込み、右足が滑ったことで、右後方へ体を捻りながら路面に落下し、左肘を負傷した。	44	221	1	100 ～ 299
2017	11	23～ 24	駅貨物列車入線ホームにて、貨物列車の台車替えしをし、台車替えし終了後、元に戻る為に貨車の反対側に戻る際、貨車からホームに降りる時、貨車から降りて右足を地面に着地した際に段差のある場所に足を着地させ足首を捻った。	30	417	19	30～ 49
2017	11	21～ 22	物流センターで切葉を降ろしている時、トラックに添える台があり、その台を踏み外してしまい、台の上から後ろ向きになったまま落下してしまい、背中、お尻、頭を地面に打ってしまった。	54	371	1	50～ 99
2017	11	11～ 12	物流構内作業中に、資材を取りに行く際、仕切りの段差に気付かず、足をひねり、そのまま昼まで作業を続けたが、痛み始めた為早退し、自宅で様子を見たが、痛みを感じた為、夜間に病院に行き、診察を行ったところ、右足関節外側靭帯損傷、右膝関節捻挫により6週間の加療を要すると診断された。	60	417	19	30～ 49
2017	11	16～ 17	2階の食堂前の廊下を歩いている時、清掃中で洗剤が塗られていたため、右足を滑らせ尻もちをつき転んだ結果、勢いで右足が前に伸び、右足太もも裏の筋肉を痛めた。	49	417	2	10～ 29
		17～	商品をパレットからカゴ台車に積み替え作業中に、背中から腰にかけて痛みを感じた。当日、翌日には病院に行かず経過観察をして				50～

2017	11	18	いたが、痛みが引かず強くなってきたので、後日受診し筋筋膜性腰痛症と診断され約2週間の休業が必要と診断された。	38	611	19	99
2017	11	1~2	倉庫内で商品を積載したカートラックの検品作業を行っていた際、カートラック上段に乗っている商品の数を確認する為カートラック下段の中心部分に右足を掛けたところ、カートラックが自身に倒れ込みカートラックと積載商品の下敷きになったが、右足の痛みはあったものの特に異常が無かったのでそのまま就業したが、帰宅後足の痛みが引かない為病院へ行ったところ、骨折と診断された。	65	362	5	10~ 29
2017	11	11~ 12	商品を搬送中、通路に置いていたカートラに足を引っ掛け転倒し、右膝を打った。その時は大丈夫と思い痛みはあったが作業を続した。翌日、通常通り出勤し作業をしたが、痛みが続いた。帰宅後も痛みがひかず、夜に連絡があり、翌日通院した。	21	362	2	100 ~ 299
2017	11	4~5	事業所倉庫内で出荷作業中、突然硬直し、後頭部から転倒した。転倒した際に頭（ヘルメット）を強打し裂傷した。救急車で搬送された際にてんかんではないかとのことだったが、まだ検査結果は不明である。外傷での休業か持病での休業か不明だが見込みとして提出する。	27	999	2	50~ 99
2017	11	8~9	機材センター内ヤード現場から返送されてきた機材の荷降ろし作業中に被災作業はトラック荷台上に玉掛け作業員2名、地上に2名とクレーンオペレーター1名で行っていた。トラックには支柱（4m）が2個×2段、その上にH400×7mが2本積載されていた。支柱上でH400を玉掛けし、地切りしたところ、吊り荷が振れたため、避けるため支柱上（約3m）より飛び降りてしまった。	27	417	3	1~9
2017	11	20~ 21	事業所倉庫内で出荷商品をバース上に設置しようとして、大型商品（マットレス）を押している時に足が滑り、滑った足に力を入れた時に痛みが生じた。そのままアイシングで応急処置をし、夜間であったため翌日通院した。	45	611	19	1~9

2017	11	10～ 11	現場で、除草伐採作業中に、刈払機使用中に保護メガネを使用していたが、メガネが曇ってしまったので、メガネをずらして作業を行っていたら、石等がはね返って、目に飛来してきて負傷した。そのまま、目が見えなくなり、痛みがあったので病院に行った。通院して約2ヶ月後に、毛様体剥離と診断された。	48	169	4	1～9
2017	11	9～ 10	トレーラーの荷台でアングルを道具を使って倒している時に、道具が外れて転倒し、その勢いで荷台から転落し左手首を骨折、顔に擦り傷を負った。当日は仕事を続けたが、状態が良くないので翌日に受診し、骨折している事が分かった。〔対策〕荷台上作業は、荷台上および地面に降りるまで慎重に行動、安全帯を使用する様、再徹底する。	52	221	1	30～ 49
2017	11	10～ 11	事業所倉庫内で、4段式脚立にのってピッキング作業をしていた。脚立をおりようとしたところ、脚立が滑りバランスを崩して転倒した。	55	371	1	100 ～ 299
2017	11	13～ 14	倉庫の1Fでピッキング作業中に、リストを取りに作業機に向かう際に、足元の段差（カート留、高さ3.5cm、長さ320cm）に躓き、左手を床につくような形で転倒した。その衝撃で左肘を骨折してしまった。	50	417	2	50～ 99
2017	11	16～ 17	本社3階倉庫内で、脚立を使用して保管商品の在庫確認中にバランスを崩して転倒し、その際に右側頭部と右肩を負傷した。	61	371	1	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	冷凍庫内で作業中、商品を抱えパレットに移動している際に、抱えている商品で前方が見えずパレットに足が引っ掛かり転倒した。	47	379	2	50～ 99
2017	11	6～7	被災者は早朝に出勤し、車両の日常点検を行った。日常点検実施後、構内を移動中、倉庫前に置いてあった鉄板（1,000mm×700mm×2mm）の上を歩行した際に、鉄板ごと右足を滑らせ転倒した。その時、右手首と右肩を負傷した。	39	417	2	50～ 99
			被災者は、本来人間の移動が禁止となっている、お客様から受託し				

2017	11	12~13	た手荷物を渡すためのスペースを通路側から仕分け場へ移動しようとした際、ジャンプをした瞬間に右足に激痛が走り歩行困難となった。	39	417	19	100 ~ 299
2017	12	19~20	宅配便発送作業中、ダンボール2個（15~20kg）の荷物を持ち上げた際、右足ふくらはぎに激痛が走り、その場から動けなくなる。病院を受診したところ、右足ふくらはぎ肉離れとの診断を受ける。	42	611	19	300 ~ 499
2017	12	15~16	美容室の屋根（高さ約6メートル）の雪下ろし作業中、足元を誤って落下し、腰部を強打し、受傷したものである。	57	719	2	50~ 99
2017	12	8~9	事業所へ入社し駐車場に自家用車を駐車し、事務所にてタイムカードを打刻後、業務開始まで時間がある事と構内を除雪作業中だった為、一旦、自分の自家用車の所まで戻ろうと歩き出し、駐車場の自家用車付近に差し掛かったところで圧雪状態の路面に足を取られ転倒した。その際、左ひじを強打し骨折した。	59	719	2	30~ 49
2017	12	13~14	コンビニで休憩をとる為、トラックを降りたところ路面が凍っており、一歩歩こうとしたところ転倒してしまった。その際、右手に携帯を握っており路面に右手の小指下を強打し骨折した。自分での打撲だと思いその日は湿布を貼り様子をみたが、次の日痛みが増したので病院へ行った。	27	719	2	30~ 49
2017	12	14~15	修繕庫内でフォークリフトにてコンテナを移動時に架台を寄せようとフォークリフトから降りる際に右足を着地したところ、窪みに足を取られてバランスを崩し転倒した。その後、違和感はあるが作業は継続した。本人からの報告では、少し痛みはあるが大丈夫との事で、その日はそのまま帰宅した。翌日の朝に足の痛みが引かないので休みたいとの事だったので、本人へ病院へ行くよう指示をした。診断の結果、右足関節外側靭帯損傷、右足関節内側靭帯損傷、右足関節後果骨折と診断された。	31	417	2	10~ 29
			マイナス15℃の冷凍倉庫内でカップアイスを袋に詰める作業に従事				

2017	12	10~11	していた。朝から作業を開始し、午前の休憩時に手袋を外すと両手の指先が白く変色している事に気付いた。若干痛みはあったが、午後まで仕事を続けた。翌日、指先の痛みが消えず水ぶくれも出来てきたため病院を受診し、凍傷と診断された。	54	529	11	30~ 49
2017	12	20~21	配送途中の店舗にて納品時、台車へ飲料ケースを載せ、段差のある入口スロープをあがろうと低い姿勢から台車を押した際、ふくらはぎに痛みが走り負傷したものである。	43	362	19	100 ~ 299
2017	12	14~15	1階ケース商品仕分けエリア（C棟）内に於いて作業中、パレットから商品を運ぼうとしたところ、誤ってパレットの角に右足小指をぶつけ、転倒の際に負傷した。	57	379	3	50~ 99
2017	12	11~12	倉庫内にてピッキング作業中、商品を膝を使って担ぎ上げようとしたところ、右膝の上部に商品が強く接触し打撲した。	38	611	3	100 ~ 299
2017	12	8~9	4tゲート冷蔵車にて、カゴ台車に積載された食品の輸送を行っていた。店舗に到着し、ゲートに台車を2台ずつ並べて荷下ろし作業を始めた。10台目くらいの台車を下ろしかかった時、左側の台車の上部貨物が重く、足でストッパーを外したところ、台車が倒れかかり、台車を支えきれずに倒れてしまい負傷した。	41	362	5	10~ 29
2017	12	15~16	コンテナ内で荷降ろし作業をしていた際、作業も終盤に入り、ダンボールを2箱持ちコンテナ後部の搬出口の所で、フォークリフトの爪で上げていたパレットにダンボールを置こうとした所、パレットとコンテナとの間にすき間があることに気づかず、その間に転落し、腰部を打撲した。	41	379	1	30~ 49
2017	12	7~8	航空機に搭載されたULD（アルミ製の板に貨物が積まれ、ネットで固縛された状態）を開口部まで電動で動かし取り降ろす作業中に、ULD固定部のあたりに指を入れロックを外そうとしていたところ、ULDが動いたため指を挟み負傷した。	20	611	7	1000 ~ 9999
			倉庫内、落花生室の大掃除において、落花生室入口左壁の上部をエ				

2017	12	10~11	アガンでほこり等の除去作業を、高さ170cmの脚立へ登り作業をしていた。作業終了時に、脚立4段目から3段目へ降りる際に、不注意により3段目で足を踏み外し落下し、落下時に左足の踵を強打したものである。	66	371	1	30~ 49
2017	12	13~14	店舗に到着し、荷卸しを行う際に、ゲート上からカーゴ（ビール瓶6ケース位）を下ろそうとしたところ、カーゴが傾きバランスを崩して転倒してしまった。その際に左足がカーゴの下敷きになり、右手首と左足首をひねってしまい、道路に打ちつけてしまった。	47	611	6	100 ~ 299
2017	12	17~18	組合員宅へ配送終了後、空シッパーを片手に持ち、小走りでトラックへ戻ろうとした時、バランスを崩し顔面から転倒した。その際、顔面を打撲した。	47	417	2	50~ 99
2017	12	11~12	事業所内で従業員口へ向かう際、搬送用カートを搬出入していた作業員が被災者に気づかず搬出入した為、接触し転倒した。	62	362	2	100 ~ 299
2017	12	6~7	宅配ホームでの仕分け作業中、2本並んでいる引き込みローラーの向こう側を仕分けるため、ローラーの上に乗って渡ろうとしたところ、足を滑らせ転倒し、ローラーの縁に右足内側のくるぶしをぶつけてしまったものである。	65	379	2	30~ 49
2017	12	0~1	特別運行便の積み込み業務を行う際、車輛がホームから15cm程離れて着車されていたが、そのまま業務を継続した。荷台からホームに出ようと振り向いて踏み出した際に、右足を踏み外し荷台後部とホームの隙間に右足根元までずり落ち負傷したものである。	39	419	9	50~ 99
2017	12	16~17	4階にてバラピッキング作業中、後方から来た他の作業員のピッキングカートが腰に衝突した。反対方向を向いていた為、接近には気付かなかった。加害者は通路に入った時点で前方に作業員がいなかった為、前方をよく確認せずに発進してしまった。翌々日に通院し、腰椎打撲傷と診断された。	49	362	6	100 ~ 299

2017	12	6~7	クール室内でクールボックスを移動中、右側より動いてきたクールボックスと移動中のクールボックスとの間に右前腕を挟んで、怪我を負った。	52	379	7	300 ~ 499
2017	12	8~9	荷降ろし現場にて、トラック荷台上で荷降ろし作業中、ビニールで足を滑らせて、荷台から地面へ落下した際、胸部と大腿部を負傷した。	54	221	1	10~ 29
2017	12	9~10	花の卸売市場から生花店や葬儀屋に植物や花を配送する際、市場でトラックの運転席から降りるとき、バランスを崩し、着地時に地面に手を着いたところ、右肘を痛めた。	39	221	1	10~ 29
2017	12	10~11	工場内にて、入荷したT字管F型VP用（Φ150×75、重量約10kg）をパレティーナ（高さ1000mm）から仕分けする作業の際に、無理な姿勢で持ち上げようとしたため、負担がかかり、腰部を痛めた。	44	921	19	1~9
2017	12	10~11	本社第1工場内で設備をトラックから降ろし、指定場所に置く作業中、横型旋盤（L2,500mm、W1,900mm、H2,400mm、重量2.5t）の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、作業員Aが爪付ジャッキを上昇させた。重心が悪かったので位置を変えようとしたところ、作業員Bが仮置きに使用していた台木から横型旋盤が浮いたので台木を抜き（推定）、不安定になり横型旋盤が転倒し、作業員Aと作業員Bが横型旋盤と床の間に挟まれた。	62	361	4	30~ 49
2017	12	10~11	本社第1工場内で設備をトラックから降ろし、指定場所に置く作業中、横型旋盤（L2,500mm、W1,900mm、H2,400mm、重量2.5t）の下に設置した台木を鉄製ブロックに入れ替えるため、作業員Aが爪付ジャッキを上昇させた。重心が悪かったので位置を変えようとしたところ、作業員Bが仮置きに使用していた台木から横型旋盤が浮いたので台木を抜き（推定）、不安定になり横型旋盤が転倒し、作業員Aと作業員Bが横型旋盤と床の間に挟まれた。	57	361	4	30~ 49
			センターにて、こんにゃくの箱28ケース（280kg）を積んでいたカゴ車を、トラック庫内へ積み込もうとしていた。本人がトラック				30~

2017	12	2~3	庫内から引っ張り降ろす際、センターと庫内の段差が約10cmあり、バランスを崩して、カゴ車の下敷きになった。	52	362	5	49
2017	12	9~10	1階5番バースにてチャーター便の入荷対応時、フォークリフトで商品を搬送中、リフトを停車して降りようとしたところ、服の右袖がリフトレバーに引っかかって、リフトが停止せず、後ろに積んであったパレットと自身が運転するフォークリフトの間に左足が挟まれた。	56	222	7	50~ 99
2017	12	16~17	梱包場所にて、パレットに積まれていた梱包前の商材をパレットごと動かそうとした際、近くにあった空のパレットに差してあったハンドリフトを使おうとした。ハンドリフトが抜けなかったため、他の作業者が代わりに抜こうと、被災者にパレットに乗って足で押えてもらっていたとき、ハンドリフトを引いた反動でバランスを崩し転倒した。その際、右手を着いたことにより、今回の傷病に至った。	59	379	2	50~ 99
2017	12	21~22	作業場で、大型トラックによる荷物搬送作業に取り掛かる際、一旦トラックの荷台に上り状況を確認したあと、トラックから離れる際にトラック荷台から足を滑らせ、肘から落ちて左肘を骨折した。	43	221	2	10~ 29
2017	12	10~11	納品先の駐車場で、トラックの荷台から後ろ向きで駐車場に降りようとしたとき、足を滑らせ転倒し、そのまま駐車場に頭・背中から落下した。トラックの荷台の降り口までまだ距離があると思い込み、後ろ向きのまま進み、振り返るのが遅れたため発生した。	54	221	1	50~ 99
2017	12	13~14	手荷物仕分け場にて、受託手荷物の仕分け・コンテナへの積み付け作業を行っている際に、仕分け場にある段差（約17cm）より足を踏み外してしまい、側にあったコンテナに手をついた。当日は痛みもなかったため業務を続けたが、日増しに痛みが増し、痛み・しびれ・震えが出てきた。	20	417	3	100 ~ 299
			入荷バースシャッター外部を、当該負傷者が脚立を使用し清掃作業				

2017	12	13~14	を行っていたところ、バランスを崩して脚立から落下し、入荷バー スホーム下まで転落し、左肩を負傷した。その後、身動きがとれ ない状態だったため救急車にて搬送された。なお、脚立から床面 までの高さは1mで、床面からホーム下までの高さは1.2mであっ た。	53	371	1	10~ 29
2017	12	10~11	商品を取りに行くためバック走行で移動していたところ、フォーク リフト内側の充電部の小窓が開き、安全装置が作動して全電源が切 れたため、操作が不能となった。その際、焦りと走行の勢いによ り、ブレーキが利きにくい状態になり、収納ラックとの間に挟ま り、前のめりで圧迫され負傷した。	38	222	7	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html